
日医特定健康診査システム

ORCA PROJECT

インストール、初期設定マニュアル

Version 2.0.0 対応版

2013 年 3 月 21 日

目次	
目次.....	2
前書き.....	4
特定健康診査について.....	4
平成 20 年 4 月から、医療保険者（国保・被用者保険）が、満 40～74 歳の加入者（被保険者・被扶.....	4
平成 25 年度 制度改正対応について.....	4
日本医師会総合政策研究機構 ORCA プロジェクトについて.....	5
登録商標および製品名に関して.....	6
ソフトウェアライセンス.....	7
はじめに.....	8
本書について.....	8
概要.....	8
対象読者.....	8
書体の規則.....	8
マニュアルの構成.....	9
インストール、初期設定マニュアル.....	9
操作マニュアル（特定健診ソフトウェア・システム管理ソフトウェア・アップデートソフトウェア）.....	9
本ソフトウェアの概要.....	10
本ソフトウェアの構成.....	11
特定健診ソフトウェア.....	11
システム管理ソフトウェア.....	11
アップデートソフトウェア.....	11
本ソフトウェアの動作要件.....	12
オペレーティングシステム.....	12
ハードウェア.....	12
ネットワーク.....	12
1. インストール（Windows）.....	15
1.1. Java Runtime Enviroment (JRE) のインストール.....	15
1.2. Adobe Reader のインストール.....	20
1.3. 日医特定健康診査システムのインストール.....	24
1.4. 日医特定健康診査システムの初期設定.....	31
1.5. インストール（Linux 版）.....	34
1.6. プリンターについて.....	35
1.7. アンインストール.....	36
1.8. Firebird 1.5/1.0 のアンインストール.....	40
2. 初期設定.....	43
2.1. 初期設定概要.....	43
2.1.1. はじめに.....	43
2.1.2. 事前準備作業の概要.....	43
2.2. 初期設定準備作業.....	44
2.2.1. ソフトウェアの起動.....	44
2.2.2. ログイン.....	45

2.2.3. 健診機関情報メンテナンスの起動	46
2.2.4. 健診機関情報の追加	47
2.2.5. 健診機関情報の登録	48
2.2.6. 健診項目マスターの更新	50
2.2.7. マスターメンテナンスメニュー	51
2.2.8. 保険者情報の登録と編集	52
2.2.9. 健診項目マスターの登録と編集	55
2.3.0. 追加健診の単価設定	57
2.3.1. 生活機能評価を同時実施した場合の単価設定	58
2.3.2. 健診パターンの登録と編集	60
2.3.3. 健診パターンの複製1	61
2.3.4. 健診パターンの複製2	62
2.3.5. 健診パターン(マイパターン)の編集	63
2.3.6. 健診パターンの編集	64
2.3.7. 支払代行機関の登録と編集	66
3. その他	67
3.1. 一覧表示件数設定	67

前書き

特定健康診査について

平成 20 年 4 月から、医療保険者（国保・被用者保険）が、満 40～74 歳の加入者（被保険者・被扶養者）を対象として、特定健康診査等実施計画に定めた内容に基づき計画的に実施する、内臓脂肪型肥満（通称：メタボリックシンドローム）に着目した検査項目での健康診査を、「特定健康診査（以下：特定健診）」という。

＜高齢者の医療の確保に関する法律＞

第二十条

保険者は、特定健康診査等実施計画に基づき、厚生労働省令で定めるところにより、四十歳以上の加入者に対し、特定健康診査を行うものとする。ただし、加入者が特定健康診査に相当する健康診査を受け、その結果を証明する書面の提出を受けたとき、又は第二十六条第二項の規定により特定健康診査に関する記録の送付を受けたときは、この限りでない。

※参照

特定健康診査・特定家保健指導の円滑な実施に向け手引き

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshho/iryouseido01/info03d.html>

健診データの電子的管理の整備に関するホームページ

<http://tokuteikenshin.jp/index.shtml>

平成 25 年度 制度改正対応について

平成 25 年 4 月に実施する、第二期 特定健診におけるシステム改修に対応しています。

医療制度改正に関する情報 第二期 特定健診・特定保健指導に関するもの

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshho/iryouseido01/info02i.html>

日本医師会総合政策研究機構 ORCA プロジェクトについて

日本医師会総合政策研究機構 ORCA (Online Receipt Computer Advantage) プロジェクト (以下: ORCA プロジェクト) は、誰もが自由に利用できる医療情報のネットワークを形成し、日本の医療現場の事務作業の効率化とコスト軽減を目指すと同時に国民に高度で良質な医療を提供することを目標とする日本医師会主導の医療現場 IT 化プロジェクトです。

プロジェクトで開発したソフトウェアおよびデータベースは日医オープンソース使用許諾に基づいて無償で提供しています。

本ソフトウェアは ORCA プロジェクトの一環で開発されています。

※参照

日本医師会総合政策研究機構 ORCA 公式 WEB サイト

<http://www.orca.med.or.jp/>

登録商標および製品名に関して

本文書ならびに関連文書で用いられている登録商標および製品名は以下のとおりです。

AMD、AMD ロゴ、Athlon、AthlonXP、AthlonMP、Athlon64、Duron ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

Acrobat および Acrobat Reader は、アドビシステムズ、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Ubuntu はキャノニカル リミテッドの登録商標です。

Firebird は Firebird Foundation Incorporated. の登録商標です。

OpenSwing は、LGPLv2 ライセンスによるオープンソースフレームワークです。

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside Pentium、Xeon、Celeron、Pentium4、Pentium III ならびにその組み合わせはアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。

Java 及びすべての Java 関連の商標及びロゴは、米国及びその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

JDK は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Microsoft は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Windows は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Eclipse は、開発ツールプロバイダのオープンコミュニティである Eclipse Foundation, Inc. により構築された開発ツール統合のためのオープンプラットフォームです。

その他、記載の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアライセンス

本ソフトウェアは、日医オープンソース使用許諾契約（第 1.0 版）の下に配布されます。

※参照

日医オープンソース使用許諾契約（第 1.0 版）

<http://www.orca.med.or.jp/orca/sengen/license.html>

本ソフトウェアを用いて、患者の医療情報および個人情報を取り扱う場合は、法令上の義務に従った上、利用者の責任において行っていただきますようお願いいたします。

本ソフトウェアおよび媒体を問わずこれに付属する全ての文書の内容や情報および構成は予告なく変更・改訂される場合があります。

※参照

個人情報の保護に関する法律

<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/H15/H15H0057.html>

医療分野における個人情報保護について

<http://www.kantei.go.jp/jp/it/privacy/houseika/dai3/3siryou2.html>

医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第4版（平成22年2月）

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/02/s0202-4.html>

はじめに

本書について

概要

本書は、本ソフトウェアを運用および保守する上で必要な情報について説明したものです。本ソフトウェアの構成と、これらのソフトウェアで実現可能なことについて説明しています。

対象読者

本書は、特定健診にかかわる各種医療機関ならびに関連機関において、本ソフトウェアの運用保守を行うエンジニア、およびそれを利用する利用者の方を対象としています。

すべての読者が、Microsoft Windows または LINUX オペレーティングシステム、GUI アプリケーションの基本操作についての知識があることを前提にしています。

書体の規則

本書では、以下の書体の規則を使用します。

- ・ *斜体*は、外部資料ならびに WEB サイト URL などの引用に使用します。
- ・ **太字**は、強調に使用します。
- ・ 「home-dir」 は、本ソフトウェアがインストールされたディレクトリを表します。

デフォルトでは、このディレクトリは LINUX では「/usr/NITTOKU」、WindowsXP では「C:\Program Files\NITTOKU」、WindowsVista および Windows7 では「C:\NITTOKU」です。

マニュアルの構成

本ソフトウェアのマニュアルは、本ソフトウェアに関する全般的な情報と、サポートされている利用方法や特定健康診査システムの構成方法を記載しています。本ソフトウェアには、次の資料が付属しています。

インストール、初期設定マニュアル

この資料は、本ソフトウェアのセットアップの説明と、関連するソフトウェアのインストール手順と各種マスタ等の初期設定に関しての説明と、使い始めるまでの基本設定に関して記載してあります。

※インストール後は必ず初期設定マニュアルを参照して、マスタ等の初期設定を行ってください。

※Linux へのインストールは、別冊の「Linux 対応版インストールマニュアル」を参照してください。

操作マニュアル（特定健診ソフトウェア・システム管理ソフトウェア・アップデートソフトウェア）

この資料は、本ソフトウェアの運用に関するマニュアルです。

この資料には、本ソフトウェアを運用する上での注意点と、システム利用者向けの本ソフトウェアの利用のための情報を記載してあります。

結果データ取り込みマニュアル（HL7 形式：特定健診、CSV 形式：検査結果）対応

この資料は、本ソフトで外部データを取込む機能に関するマニュアルです。

取り込めるデータ形式は HL7（特定健診）と CSV（結果データ）があり、データのフォーマットや手順を記載してあります。

本ソフトウェアの概要

本ソフトウェアは、2008年4月より実施された特定健康診査において、健診時に入力される受診者・健診医療機関・医療保険者等の情報を、データ受診者（保険者等、請求・報告先）へ送信するためのファイルアーカイブである「HL7（HL7CDAR2）」へ変換するソフトウェアです。

本ソフトウェアは、主に日医標準レセプトソフトを利用する健診実施機関を対象として想定して開発されています。

また、本ソフトウェアは ORCA プロジェクトの一環でオープンソースソフトウェアとすることを目標として開発されています。

日医特定健康診査システム バージョン履歴

http://www.orca.med.or.jp/tokutei/update_hist.html

Set Up 提供履歴

2008-05-16	: ver1.0.0
2008-09-03	: ver1.1.2
2009-01-28	: ver1.1.6
2009-11-06	: ver1.2.3
2011-09-20	: ver1.3.5
2013-03-15	: ver2.0.0

本ソフトウェアの構成

本ソフトウェアは、次に示すコンポーネントによって構成されます。各コンポーネントの役割は以下のとおりです。

特定健診ソフトウェア

特定健診ソフトウェアは、特定健診において、健診機関での患者情報および健診結果の管理と、医療保険者への決済データおよび健診結果の電子的交換のためのファイルの生成をソフトウェアです。特定健診機関単位での処理を行います。すべての特定健診で取り扱う健診情報に対応しています。

JAVA 言語によって開発されています。

システム管理ソフトウェア

システム管理ソフトウェアは、特定健診ソフトウェアの管理を行う専用のソフトウェアです。特定健診機関の管理および公共機関での複数の特定健診機関による共用の端末を用いた健診に対応しています。JAVA 言語によって開発されています。

アップデートソフトウェア

アップデートソフトウェアは、「特定健診ソフトウェア」、「システム管理ソフトウェア」を最新のソフトウェアに更新するソフトウェアです。

JAVA 言語によって開発されています。

実行ロック解除ソフトウェア

実行ロック解除ソフトウェアは、「特定健診ソフトウェア」、「システム管理ソフトウェア」の2重起動を防止する機能です。システムの異常終了やハングアップした場合にロックファイルが残ったままの状態になります。その場合に、当該機能を使用し、解除を行います。

本ソフトウェアの動作要件

本ソフトウェアの動作要件は以下のとおりです。

オペレーティングシステム

本ソフトウェアが対応するソフトウェアは以下のとおりです。

- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows 7 (32bit/64bit)
- Ubuntu10.04 /Linux(Lucid)
- Ubuntu12.04 /Linux (Precise)

ハードウェア

本ソフトウェアが快適に動作するハードウェア要求は以下のとおりです。

- インテル Pentium® 4 相当以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
1GB以上のRAM (OS推奨容量が1GB以上の場合はそれに従う)
- 1GB 以上の空き容量があるハードディスク
- 1024*768 以上の画面解像度をサポートするディスプレイおよび 32bit 以上のビデオカード、GPU アクセラレーショングラフィックカード
- フロッピーディスク、CD-R/RW ドライブ、DVD±R/RW ドライブおよびUSB フラッシュディスクなどのデータ保存媒体と接続可能なインターフェース

ネットワーク

本ソフトウェアはネットワークに繋がっていない環境でも動作可能です。ただし、日医標準レセプトソフト¹との連携を行う場合、以下のネットワーク要求を満たす必要があります。

TCP/IP (IPv4) で接続が可能なこと。

¹ 本ソフトウェアは日医標準レセプトソフトのバージョン 4.6.0 以上に対応しています。

本ソフトウェアが以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。

本ソフトウェア動作するには、以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。

- JAVA JRE (Java Runtime Environment) Version1.7 以上もしくは JAVA JDK (Java Developer Kit) Version1.7 以上の JAVAVM 実行環境の最新環境を推奨

- Firebird Version 2.0.0 以上

※セットアップでインストール時に Firebird が未インストールの場合にはインストールされます。

- Adobe Reader6.0 以上 (マニュアル参照及び印刷時に必要になります。)

旧バージョンの Adobe Reader はセキュリティの脆弱性の問題から攻撃用のファイルが出回っており、注意が必要です。必ず最新版にアップデートしてお使いください。

また、なるべくバージョン9 (2009年10月22日現在) 以上を使用するようにしてください。

※参照

Java ソフトウェアの無料ダウンロード

<http://www.java.com/ja/>

Firebird - The RDBMS that's going where you're going

<http://www.firebirdsql.org/>

Adobe Reader 無料ダウンロード

<http://www.adobe.com/jp/>

本ソフトウェアが対応する、HL7 ファイル形式 (HL7CDAR2) に関する情報は以下のとおりです。HL7 ファイルの詳細に関しては、厚生労働省および関連機関の Web サイトにて掲載されている資料に基づいて実装されています。

[1] 厚生労働省、標準的な健診・保健指導プログラム (確定版)」, 2007

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/seikatsu/index.html>

[2] 厚生労働省、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshho/iryouseido01/info03d.html>

[3] 健診データの電子的管理の整備に関するホームページ

<http://tokuteikenshin.jp/index.shtml>

1. インストール (Windows)

1.1. Java Runtime Enviroment(JRE)のインストール

日医社特定健康診査システムを実行するのに必要な Java(JRE)をインストールします。JRE1.5 等の古い Java(JRE)では動作しませんので、最新の JRE7(Update17)をインストールしてください。※2013/3 月時点

以下のサイトにアクセスし、Java(JRE)をダウンロードします。

<http://java.com/ja/download/>

「無料 Java のダウンロード」ボタンを押してダウンロードに進みます。



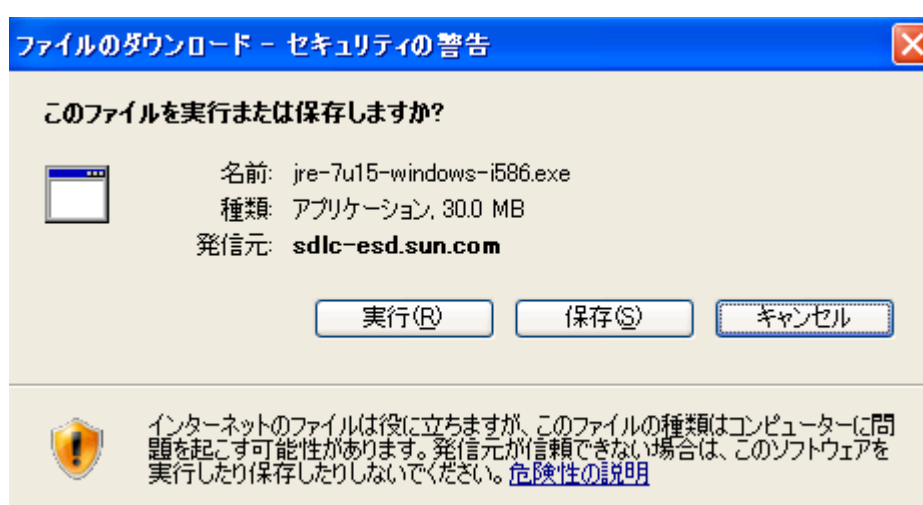
「すべての Java のダウンロードを表示します。」を押して進んでください。



「Windows オフライン」をクリックしてください。



ファイルのダウンロードに関する警告が出るので、「実行」をクリックしてください。

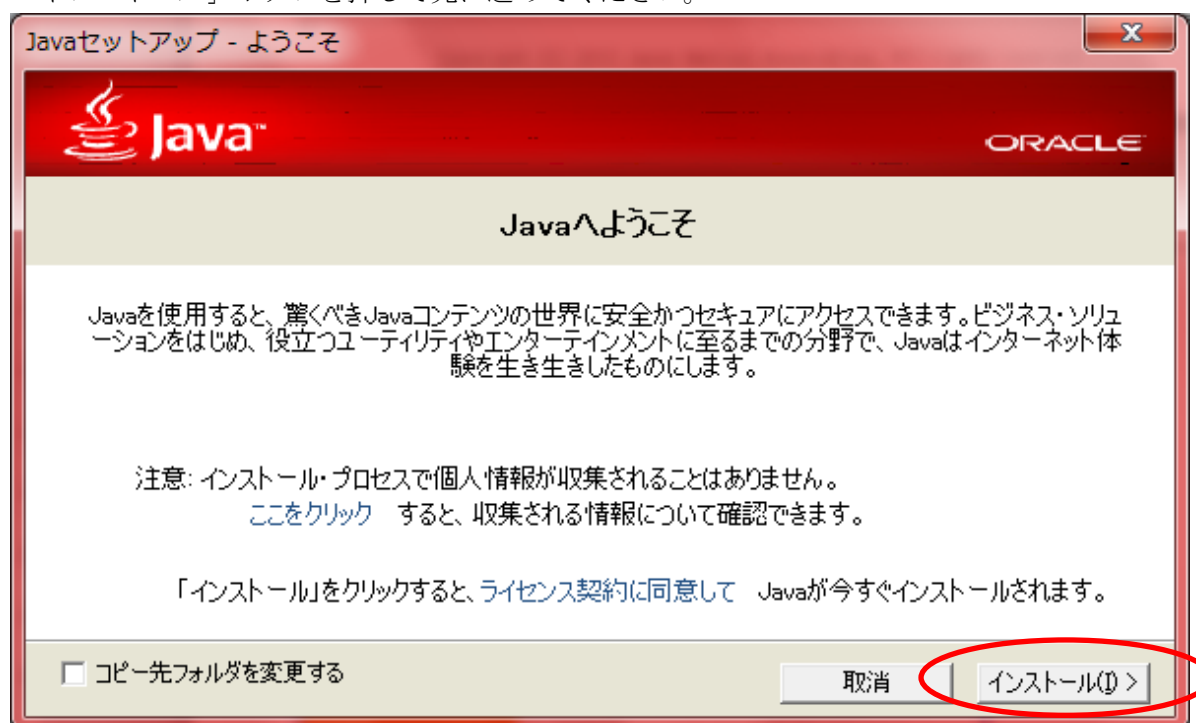


ダウンロードしたファイルを本当に実行してよいか、セキュリティ警告が出ますので「実行する」ボタンを押してください。

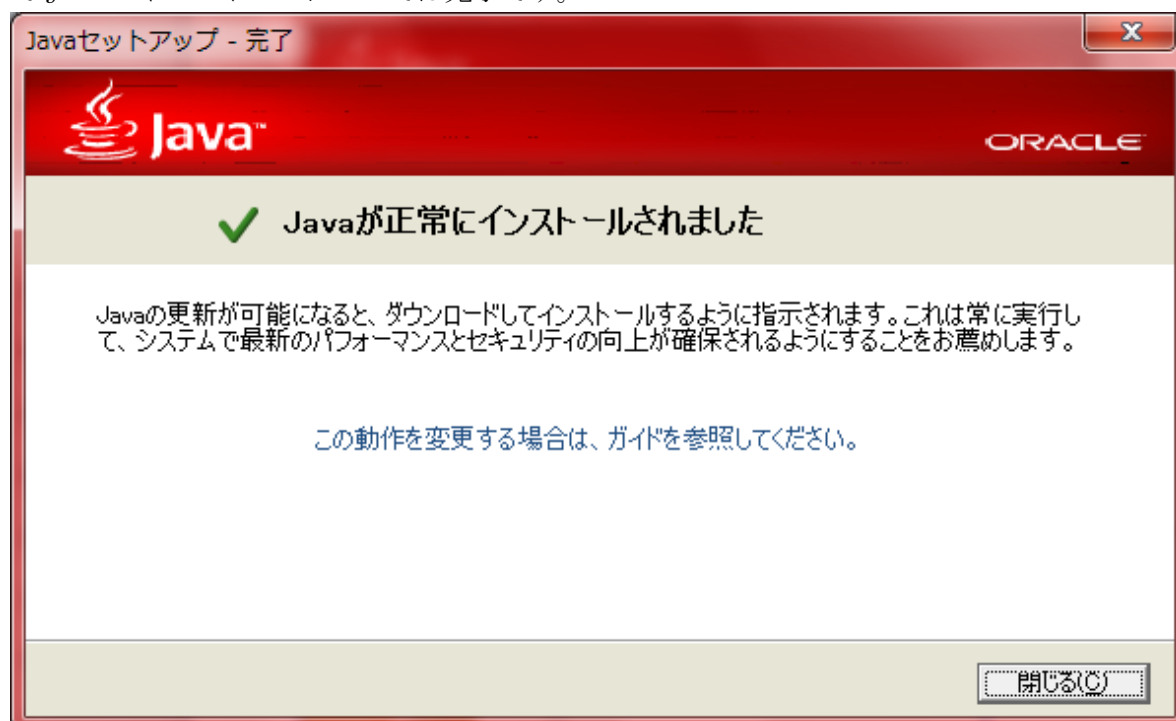
※セキュリティ的に問題がないか確認を行うのであれば、発行元の「Sun Microsystems, Inc」をクリックして、デジタル署名に問題がないことを確認のうえで、「実行する」ボタンを押してください。



「インストール」ボタンを押して先に進めてください。



しばらく、インストール処理が行われ、正常に Java がインストールされると次のような画面が出ます。これで Java のインストールについては完了です。



1.2. Adobe Reader のインストール

日医特定健康診査システムで作成される PDF ファイルを閲覧/印刷するのに必要な Adobe Reader をインストールします。

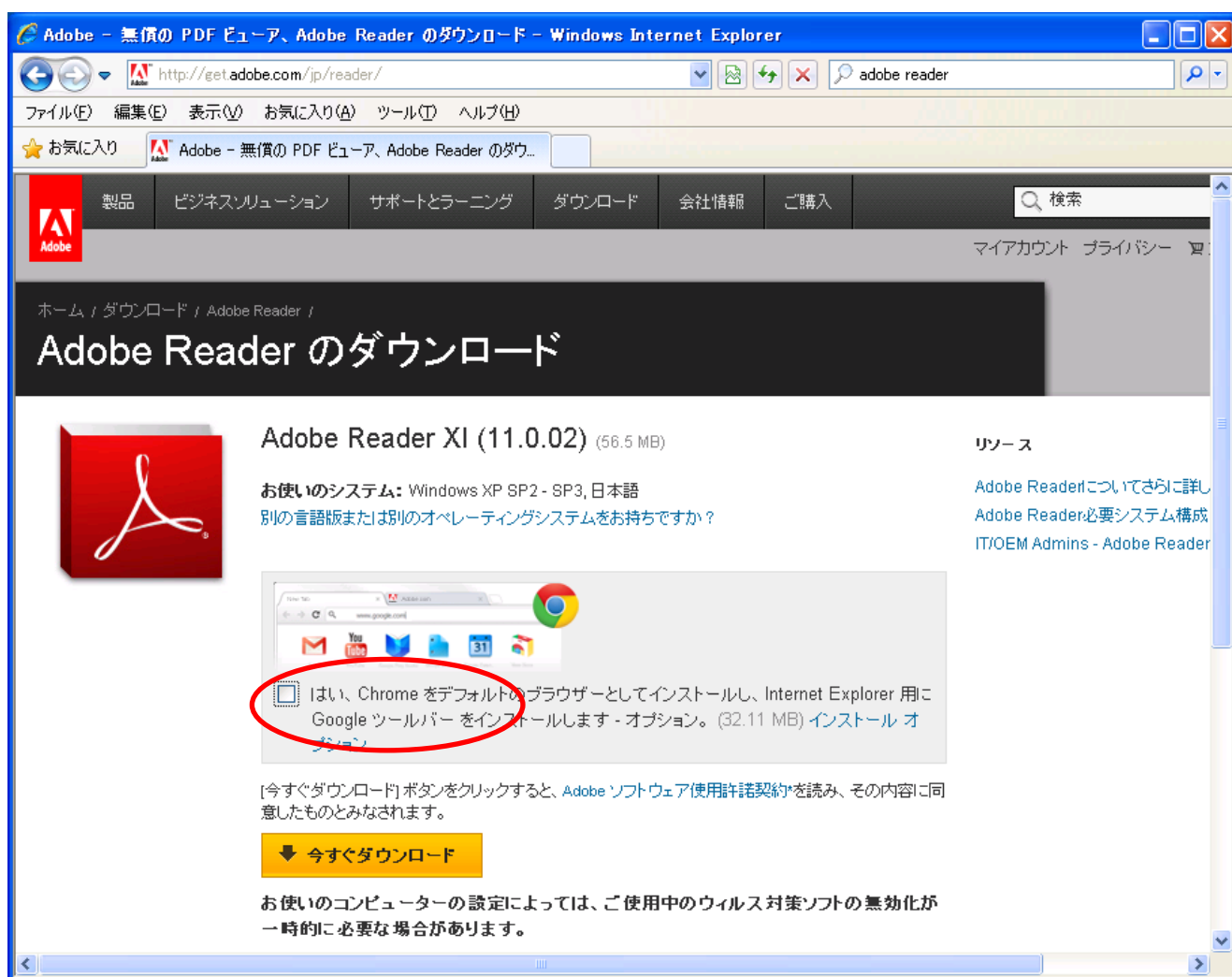
すでに Adobe Reader 6 以上のバージョンがインストールされている場合は、以下の最新版 Adobe Reader のインストール手順は、必ずしも必要ではありません。インストールしない場合は、このセクションを飛ばして、次のセクションに進んでください。

以下のサイトにアクセスして、Adobe Reader をダウンロードします。

<http://get.adobe.com/jp/reader/>

Adobe Reader のダウンロードページが表示されます。

もし、「無償 Google ツールバー」の項目が表示されている場合は、「無償 Google ツールバー」のチェックを外した上で、「今すぐダウンロード」ボタンを押してください。



Internet Explorer を使用している場合は、ブラウザ上部に Active X コントロールのインストールを促される場合がありますが、下のほうにある「ダウンロードが開始しない場合は、ここをクリックしてください」をクリックして進めてください。

※Active X コントロールを利用したインストールも可能ですが、その際は Active X コントロールのセキュリティ/アップデートに十分ご注意ください。



Adobe - Adobe Readerダウンロードのお礼 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 停止 印刷 検索 お気に入り

アドレス(D) http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readstep2_servefile.html?option=full&order=1&

このサイトには、次の ActiveX コントロールが必要な可能性があります: 'Adobe Systems, Incorporated' からの...

アカウント | ショッピングカート | お問い合わせ | 日本(変更)

ホーム | ソリューション | 製品 | サポート | コミュニティ | 会社情報 | ダウンロード

ホーム / 製品 /

Adobe Reader

ダウンロードの際のご注意

インストールを開始するには、ブラウザウィンドウ上部に表示される情報バーのクリックが必要となる場合があります。

このページの上部にバーが表示されたらバーをクリックしてインストールします。

バーをクリックすると、ダウンロードは自動的に開始されます。
ダウンロードが開始しない場合は、**ここをクリックしてください。**

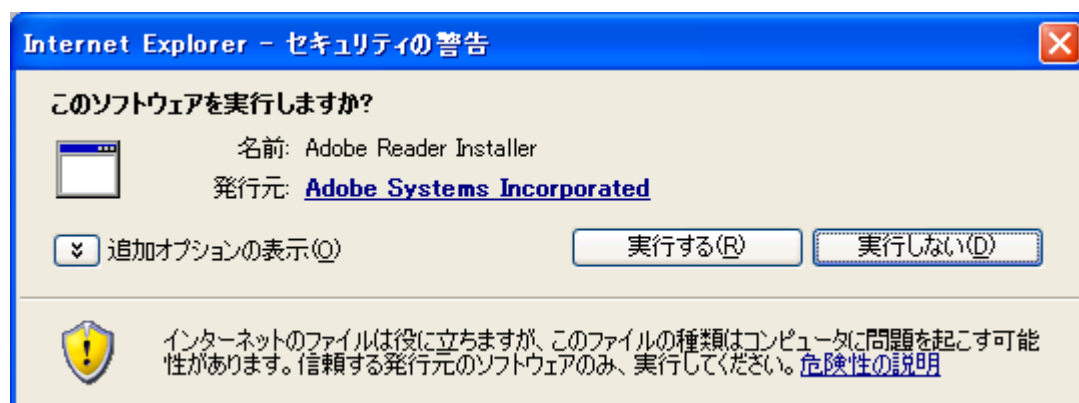
実行と保存のいずれかを選択するダイアログボックスが表示された場合は、「実行」をクリックしてください。

ファイルのダウンロードに関する警告が出るので、「実行」をクリックしてください。

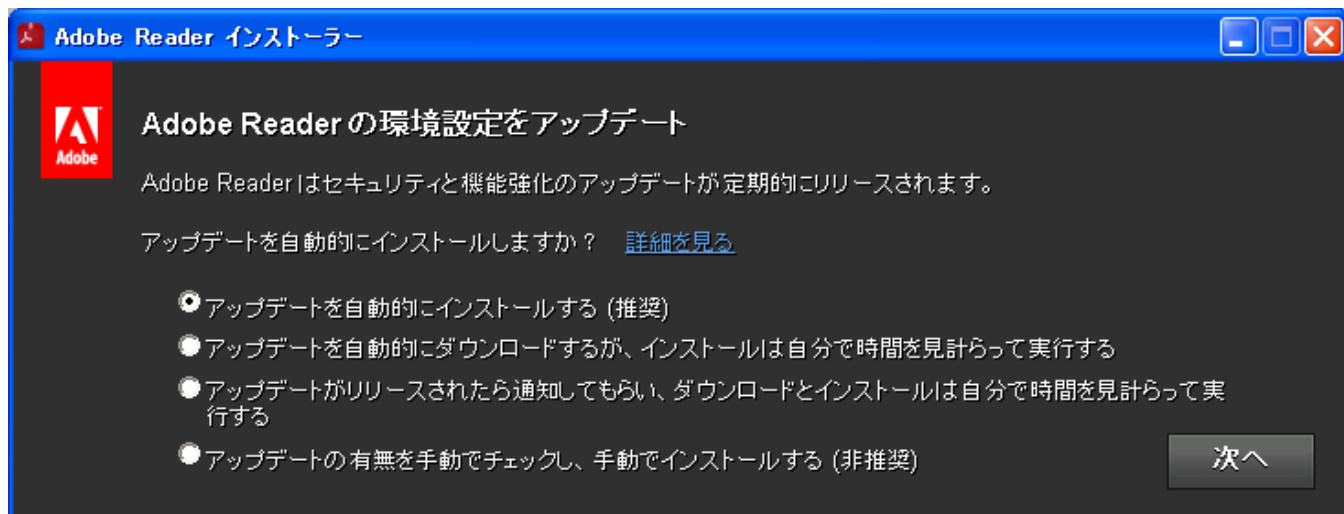


ダウンロードしたファイルを本当に実行してよいか、セキュリティ警告が出ますので「実行する」ボタンを押してください。

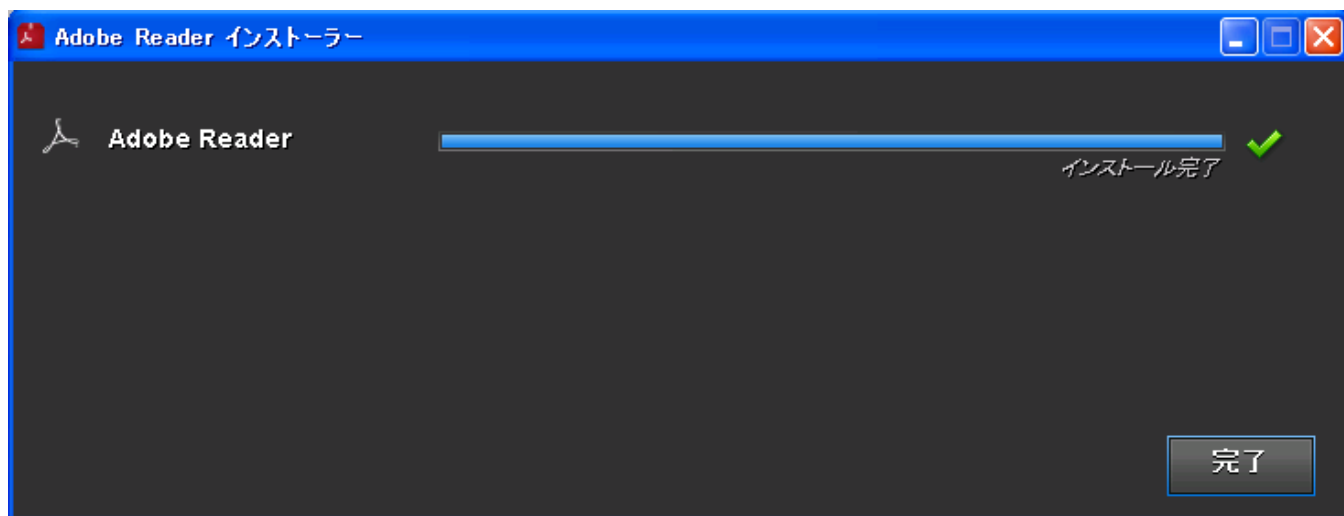
※セキュリティ的に問題がないか確認を行うのであれば、発行元の「Adobe Systems, Incorporated」をクリックして、デジタル署名に問題がないことを確認の上で「実行する」ボタンを押してください。



しばらく待つと、インストール方法をたずねるセットアップ画面が出てきますので
「アップデートを自動的にインストールする」ボタンを押して、インストールを行ってください。



インストール処理が行われ、正常に Adobe Reader がインストールされると次のような画面が出ます。これで Adobe Reader のインストールについては完了です。



1.3. 日医特定健康診査システムのインストール

日医特定健康診査システムの本体プログラムをインストールします。

最初にORCAプロジェクトの特定健診サイト<http://www.orca.med.or.jp/tokutei/index.html>よりセットアップをダウンロードします。



Windows 向け「Windows 版インストーラ」をクリックしてください。

※Linux 版は「Linux 向けアーカイブ」を選択してください。



ORCA Project: 日医特定健康診査システム - Windows Internet Explorer

http://www.orca.med.or.jp/tokutei/#require

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

★ お気に入り ORCA Project: 日医特定健康診査システム

ダウンロード

本システムをダウンロードして御使用頂く場合、本システムに関連する重要なお知らせをお届けするため、下記のMLへのご登録をお勧めします。

- ▶ [tokutei-announce ML](#)

Windows向け

- ▶ [Windows版インストーラ\(2012.02.01 ver1.3.5\)](#)
(exe: 27,038,176 Bytes : MD5 (nittoku135_setup.exe) = 9182337df468736bb2e2c79d64a77bdc)
- ▶ [クイックインストールマニュアル \(2009.07.14\)](#) (PDF: 1,200,239 Bytes)
※Windows上で日医特定健康診査システムをスムーズに導入するための手順を図解入りでわかりやすく説明しています。

※本インストーラは新規インストール用です。旧バージョンからのバージョンアップには、[アップデータ\(オンライン/オフライン\)](#)を御利用下さい。
 ※インストール後は、[オンラインまたはオフラインアップデータ](#)により最新バージョンにアップ出来ます。
 ※本インストーラにはFirebird2.0が含まれております。別途Java実行環境(JRE)およびAdobeReaderをインストールしてください。

Linux向け

- ▶ [Linux向けアーカイブ\(2012.02.02 ver1.3.5\)](#)
(tar+gzip : 25,356,037 Bytes : MD5 (Nittoku-1.3.5.tar.gz) = e6b96f4dbb7d8dc80b0d9e95c8f804a)
- ▶ [Linux向けインストールマニュアル \(2012.02.01\)](#) (PDF: 129,851 Bytes)
※内容はUbuntu(Lucid)向けに書かれております。

※インストール後は、[オンラインアップデータ](#)により最新バージョンにアップ出来ます。(オフライン用アップデータはございません。)

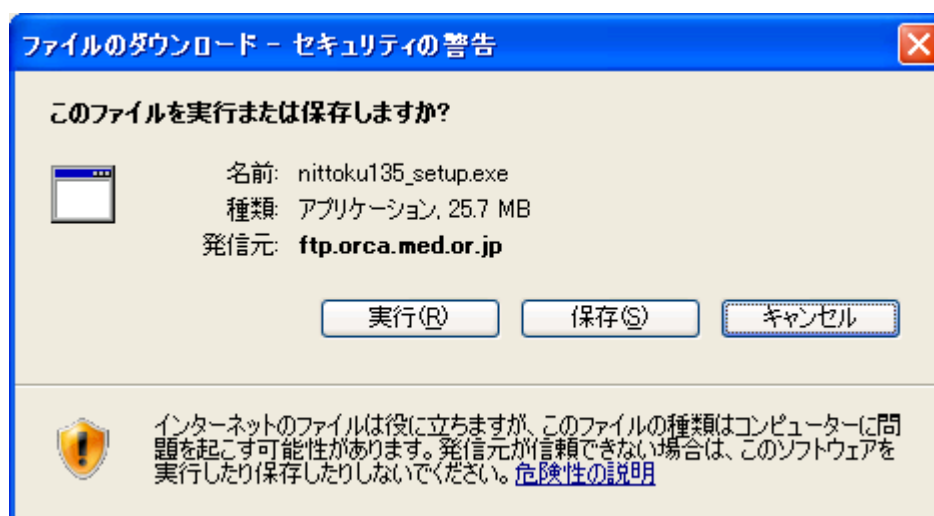
検査結果データ取り込み機能追加

ver1.3.3より、HL7(XML)データの取り込みにも対応しました。

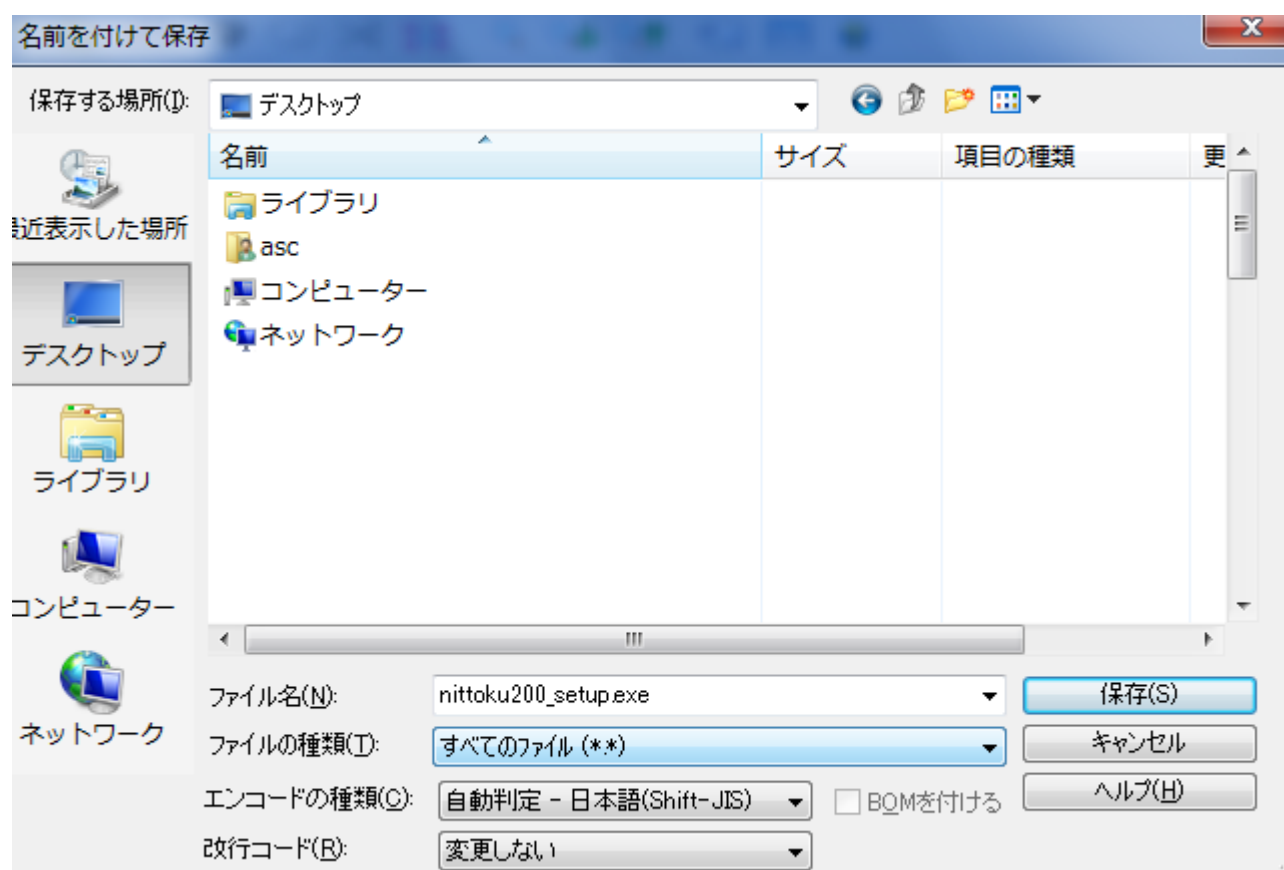
- ▶ [Windows向け機能追加パッチ\(ver1.3.9.1.4.0用\)](#)
(EXE: 1,196,049 Bytes : MD5 (nittoku_importable_139.exe) = 32b38da13d0d05315dcb77248171280f)
- ▶ [Linux向け汎用jarファイル\(ver1.3.9.1.4.0用\)](#)
(jar: 1,001,087 Bytes : MD5 (JKenshinSoftware.jar) = e6202f9b5f6e3ae37366caa36dd30819)
ダウンロードしたJKenshinSoftware.jarをNITTOKUディレクトリ配下の同名ファイルと差し替えてください。
- ▶ [検査結果データ取り込みマニュアル\(PDF: 603,212Bytes\)](#)
- ▶ [HL7\(XML\)ファイル取り込み機能マニュアル \(2011.02.10\)](#) (PDF: 653,174 Bytes)

※取り込み機能の評価に御協力頂ける場合は、パッチ適用と共に、tokutei@orca.med.or.jpまで御連絡いただければ幸いです。
 ※機能追加する前に、必ず[オンラインアップデータ](#)等で、ソフト本体をver1.3.9以上へバージョンアップしておく必要があります。

ファイルのダウンロードに関する警告が出るので、「保存」をクリックしてください。

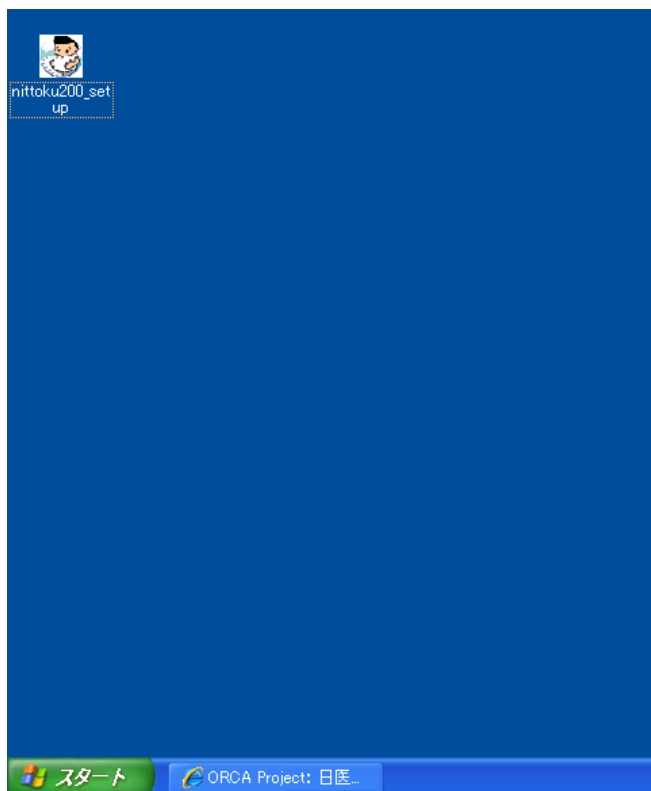


保存先を「デスクトップ」に指定して「保存」をクリックしてください。

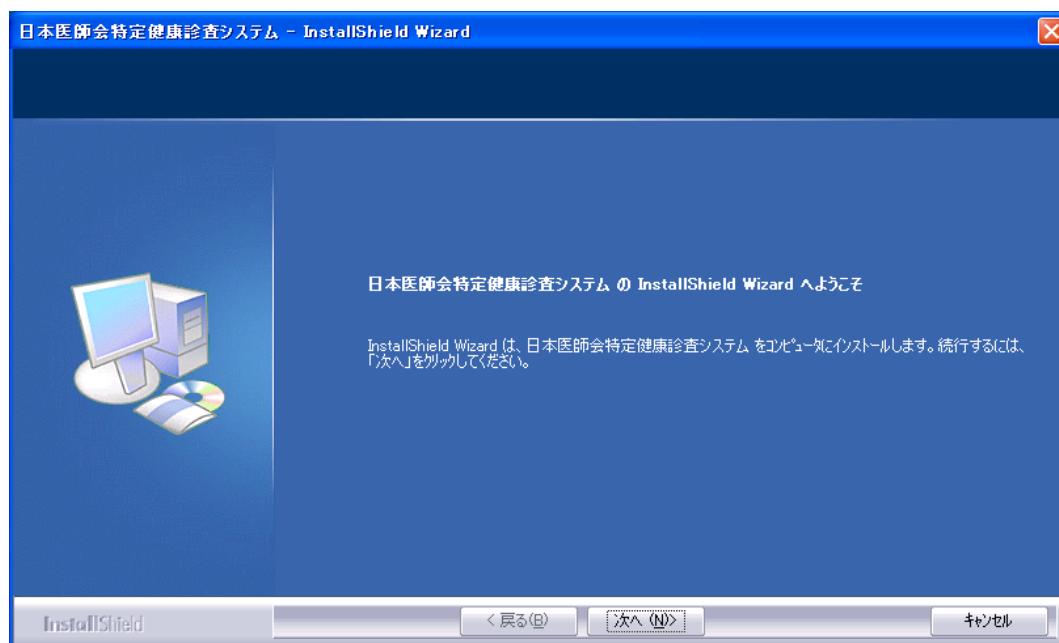


ダウンロード後、ファイルをダブルクリックすることで、デスクトップにフォルダが生成されますので、フォルダ内の Setup.exe を実行します。

日医特定健康診査システムをインストールするには、Setup.exe を実行します。



「次へ」を押してインストールを進めます。



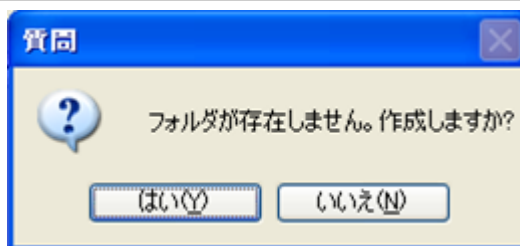
インストール先フォルダをたずねられますので、変更しないでそのまま、「次へ」を押してください。

※インストールフォルダ名などに日本語や全角文字を使用しないでください。

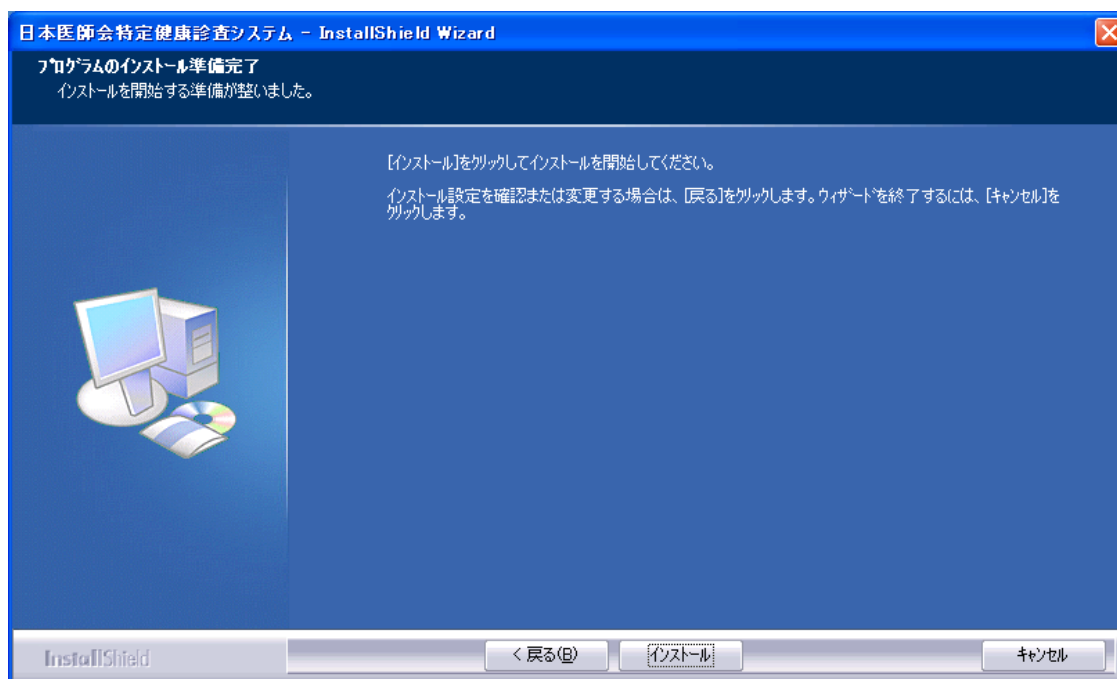
※Windows XP での標準インストール先は「C:\Program Files\NITTOKU」フォルダですが、Windows Vista、Windows 7 の標準インストール先は「C:\NITTOKU」です。Windows Vista の場合はトラブルの原因となりますので、「C:\Program Files」にインストールできません。



フォルダの作成をたずねられたら、「はい」を選択します。

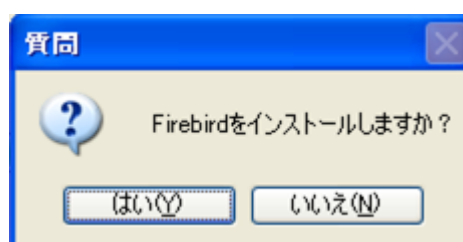


インストールを開始するために、「インストール」ボタンを押します。

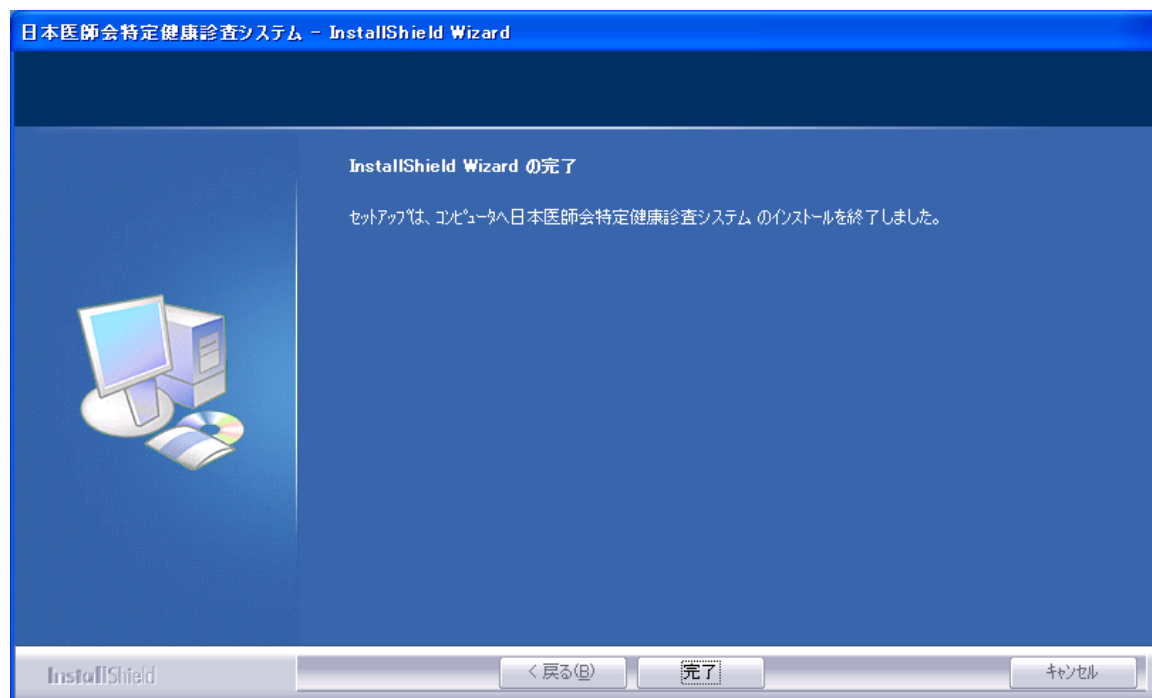


ここで、Firebird データベースのインストールを尋ねるダイアログが、出てきますので、Firebird2.0 がインストールされていないのであれば、「はい」を押してください。（もしインストールされていた場合は、既に Firebird 2.0 がインストールされている旨のメッセージが出ます。）

もし、「Firebird 1.5 のサービスを停止して、Firebird 2.0 をインストールしますか？」のメッセージが出た場合は、Firebird 1.5 がアンインストールされていないので、このマニュアルの前のセクションに戻って、Firebird のアンインストール作業を行ってください。



正常に日医特定健康診査システムがインストールされると、次のような画面が出ます。これで、全てのソフトのインストールが完了しました。日医特定健康診査ソフトウェアを利用するためには、初期設定を行う必要がありますので次ページ以降で解説してあります。



1. 4. 日医特定健康診査システムの初期設定

日医特定健康診査システムは、主に下記の 2 種類のソフトで構成されています。

＊システム管理者用ソフトウェア

＊日医特定健康診査ソフトウェア

日医特定健康診査ソフトウェアを利用するためには、まず健診機関情報をシステム管理ソフトウェアで登録する必要があります。

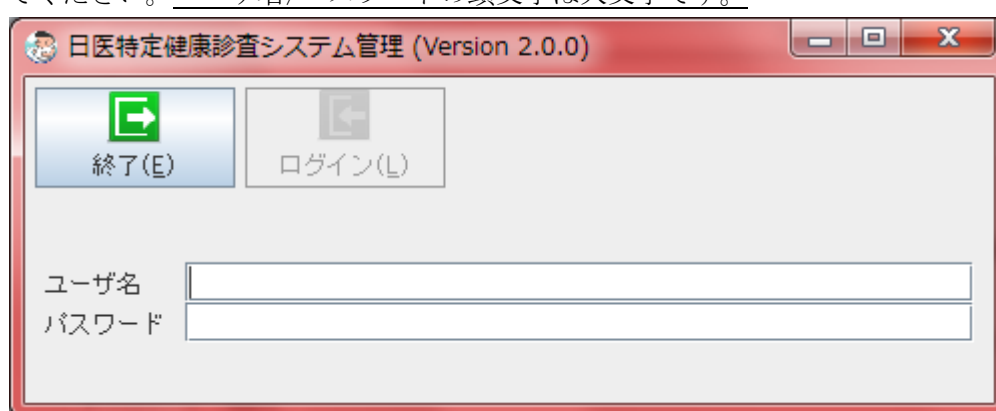
スタートメニューを開き、「日医特定健康診査システム」→「システム管理者用ソフトウェア」を起動します。

＊ユーザ名 : Admin

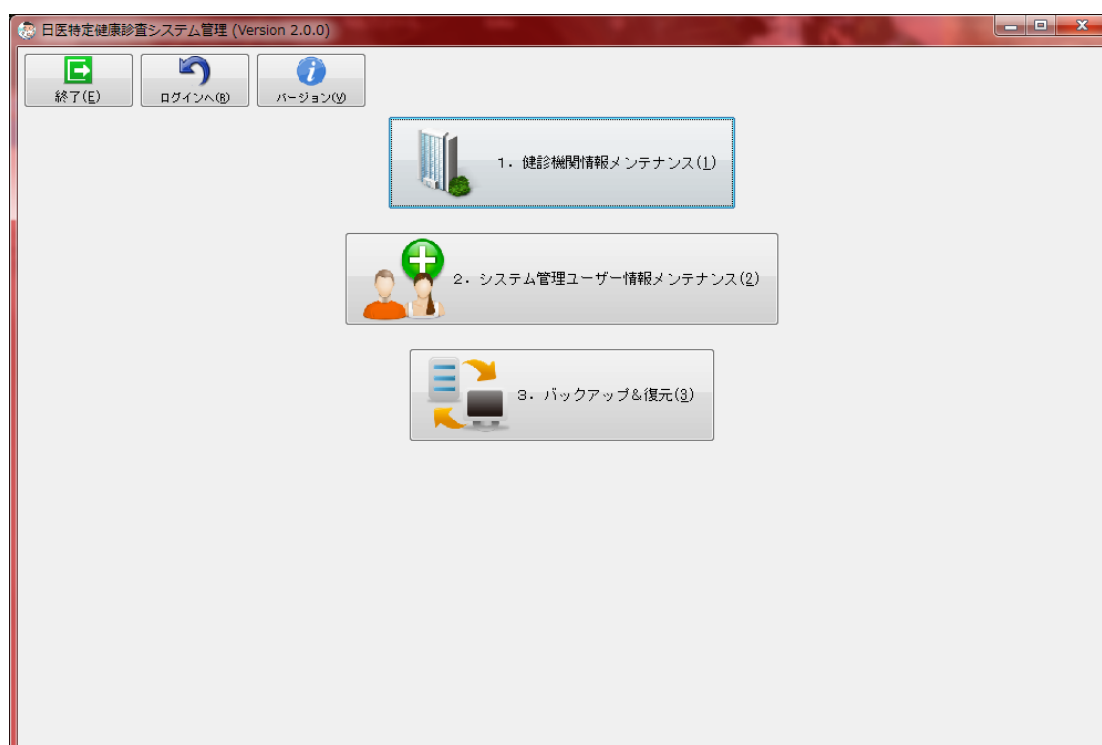
＊パスワード : Admin

ユーザ名の Admin のアルファベット A は大文字で入力してください。
パスワードも同様

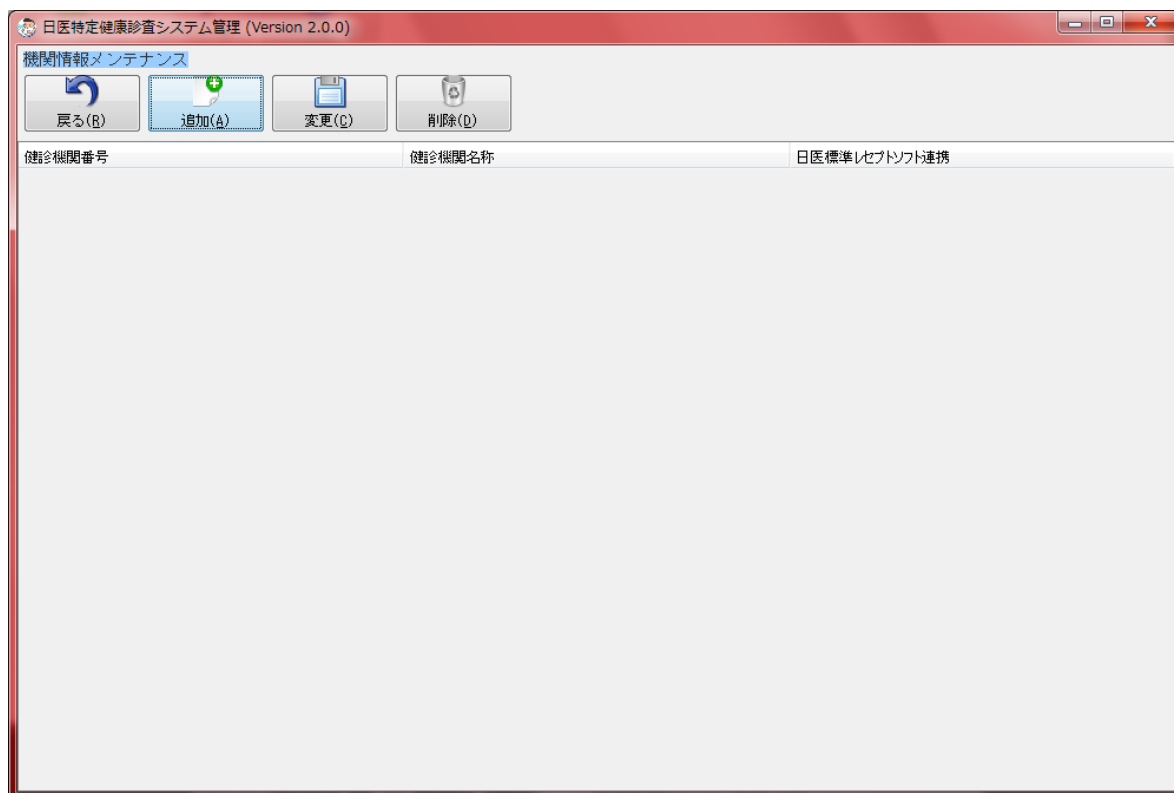
でログインしてください。ユーザ名/パスワードの頭文字は大文字です。



「健診機関情報メンテナンス」をクリックします。



健診機関情報メンテナンス画面が現れますので、「追加」ボタンを押してください。



健診機関情報を入力し、「登録」ボタンを押します。

その後、「戻る」ボタンを押してシステム管理者用ソフトウェアを終了してください。

機関情報

特定健診機関番号: 1234567890 (半角数字10桁)
 送付元機関番号 (請求事務代行含む): 1234567890 (半角数字10桁以下)
 名称: 日医健診センター (全角20文字以内)
 郵便番号: 119-8621 (半角数字7桁)
 所在地: 東京都文京区本駒込2-28-16
 地番方書: (所在地と地番方書を合わせて、全角40文字以内)
 電話番号: 0312345678 (半角数字11桁以下)

新API設定情報

日医標準レセプトソフトと連携する: ☐ はい ☒ いいえ

ホスト名 or IPアドレス: (IPの場合IPv4形式)
 ポート番号: (半角数字6桁以下)
 日レセのユーザID: (半角英数字のみ)
 日レセのパスワード: (半角英数字のみ)
 患者IDのフォーマット: 先頭0埋めをする ☐ はい ☒ いいえ
 患者IDの桁数: 桁

接続テスト...

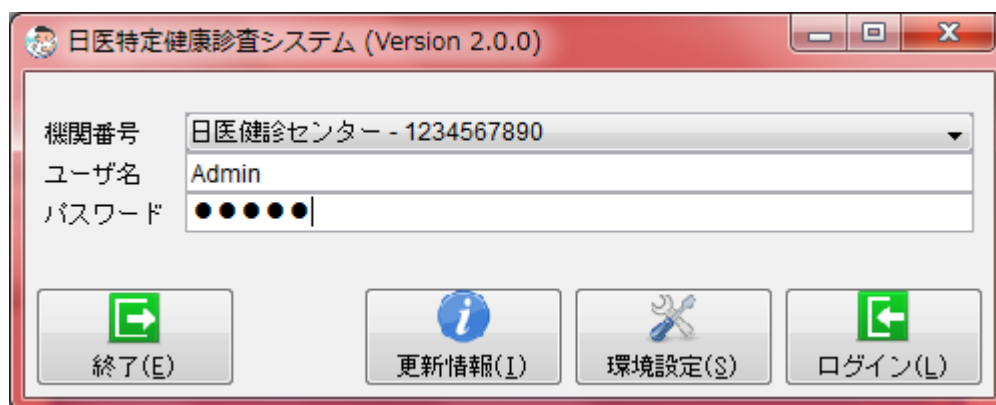
スタートメニューを開き、「日医特定健康診査システム」→「日医特定健康診査ソフトウェア」を開きます。
さきほど登録した健診機関番号が、表示されていることを確認し、ログインしてください。

*ユーザ名 :Admin

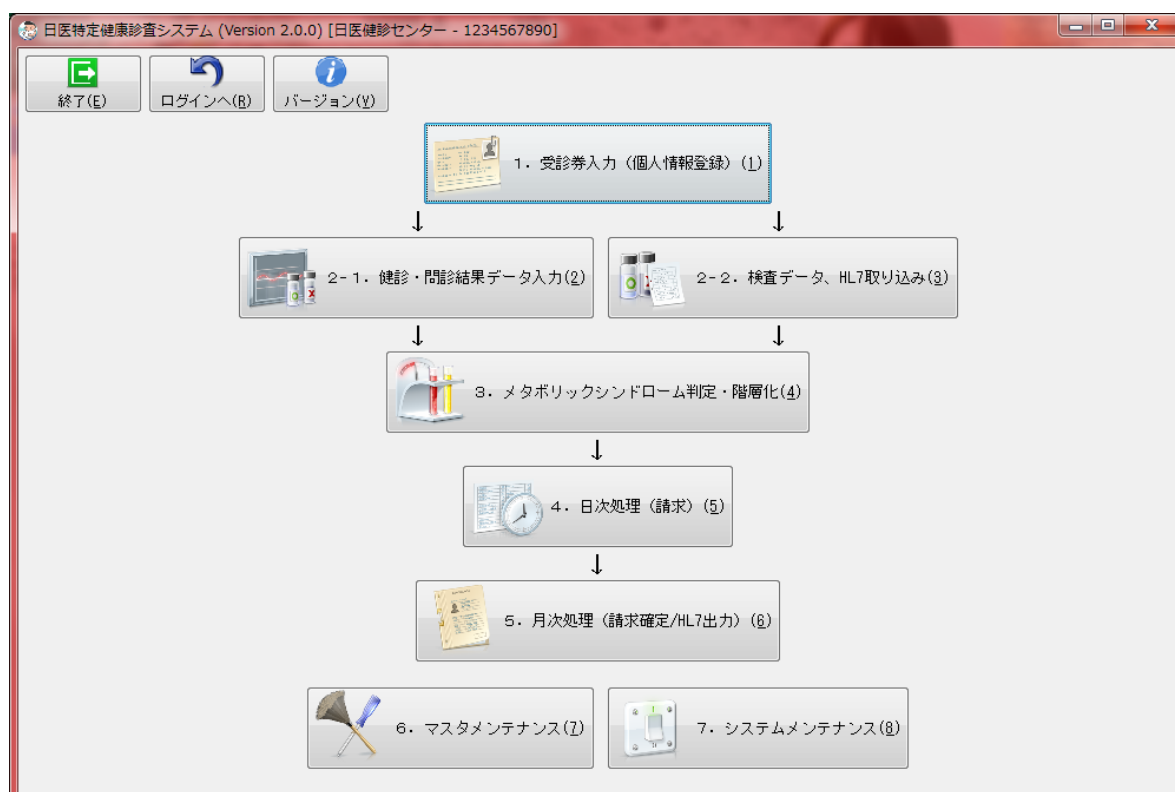
*パスワード:Admin

ユーザ名の Admin のアルファベット A は大文字で入力してください。
パスワードも同様

ユーザ名/パスワードの頭文字は大文字です。



ログインに成功すると、特定健診システムの画面が表示され、利用できるようになります。



次回からは、「日医特定健康診査ソフトウェア」を起動することで、利用できます。

1.5. インストール (Linux 版)

※ Linux 版のインストールにつきましては、別冊「Linux 版インストールマニュアル」を参照してください。

1.6. プリンターについて

本システムにて印刷を行うには事前にプリンターを設置し、プリンタードライバーをインストールしておく必要があります。

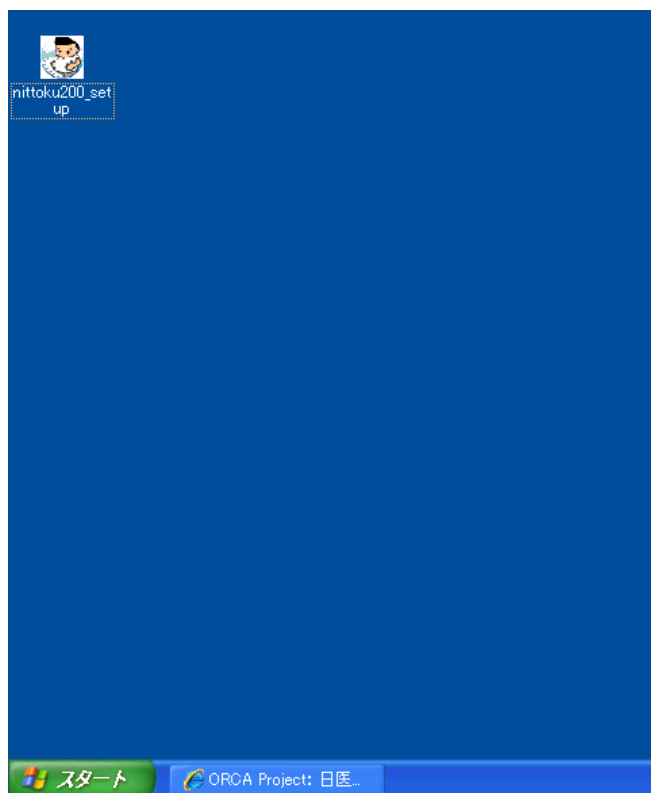
プリンターの設置、プリンタードライバーのインストールに関しては、プリンターに付属のマニュアルにしたがって、設定を行ってください。

※印刷を行うには Adobe Reader6.0 以上が必要になります。

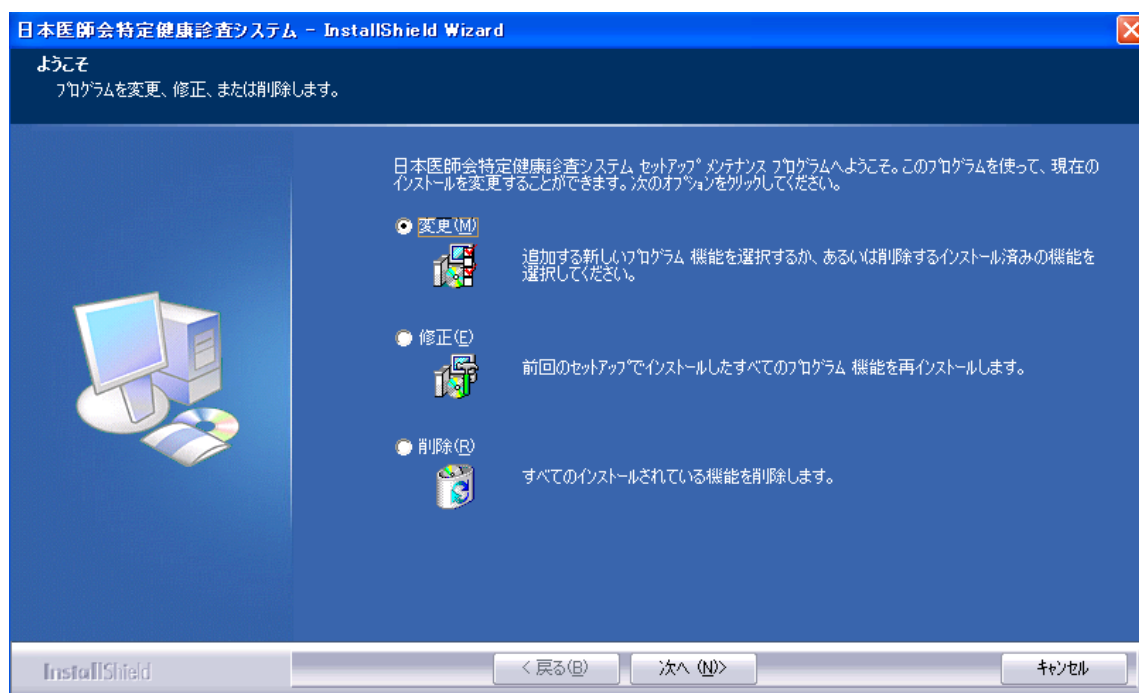
1.7. アンインストール

日医社特定健康診査システムのアンインストールを行います。

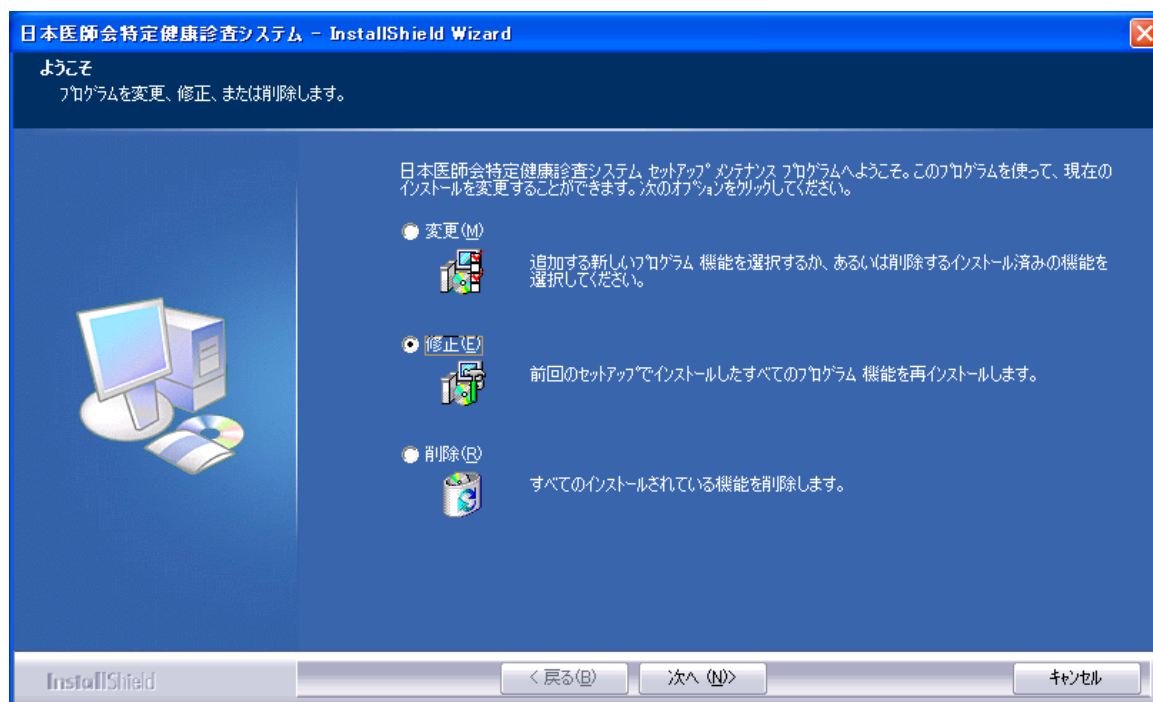
インストーラを用いて、既存の日医特定健康診査システムの変更・修復インストールを行い、またアンインストールを行うことができます。Setup.exe をダブルクリックし実行します。



日医特定健康診査システムの変更・修正・削除の選択画面が表示されます。



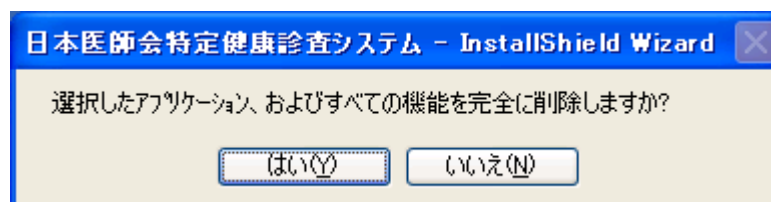
修復を選択した場合、即座に修復インストールされます。



削除を選択した場合、日本医師会特定健康診査システムはシステムよりアンインストールされます。



削除を開始するためには、「はい」 ボタンを押します。



「はい」 ボタンを押すと、アンインストールが完了します。

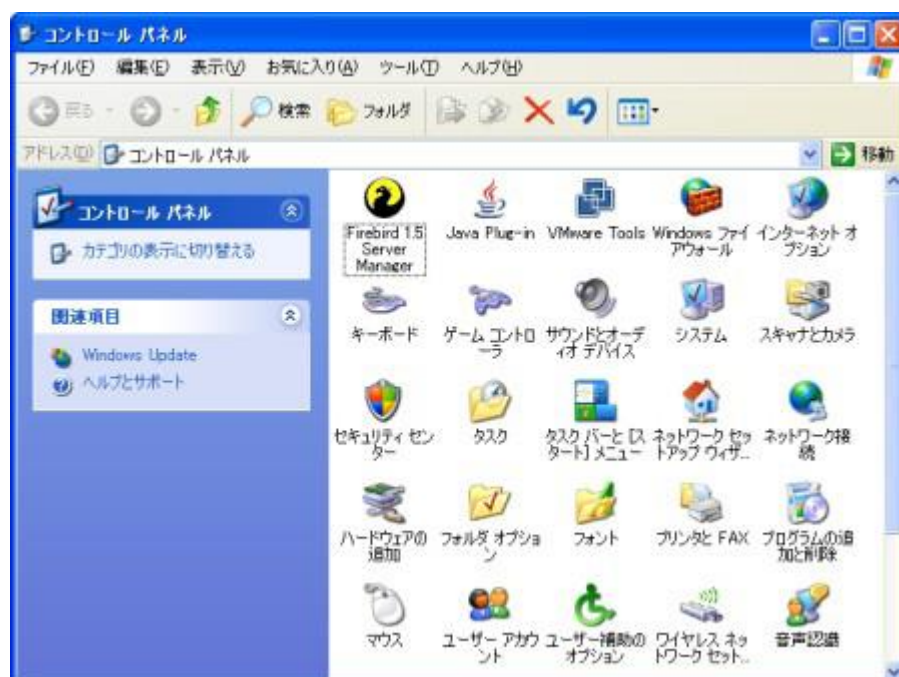


なお、アンインストールの過程で、バックアップフォルダと DB フォルダに関しては自動では削除されませんので、完全に削除したい場合は手動削除となります。あらかじめご了承ください。

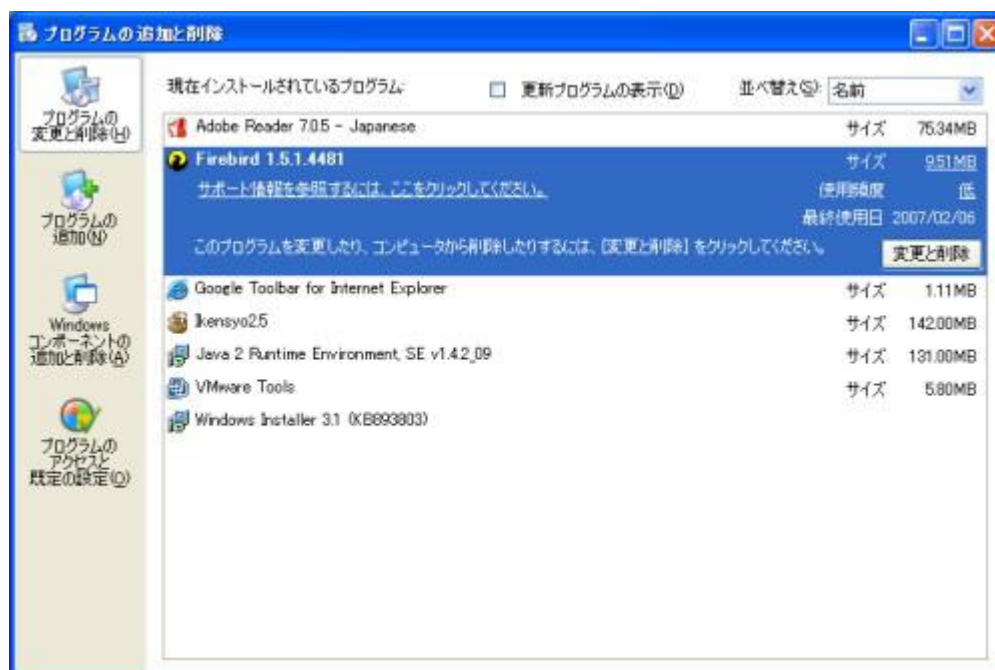
1.8. Firebird 1.5/1.0 のアンインストール

以下の手順は、医見書・給管鳥などの Firebird 1.5 を医療したアプリケーションを使用している場合のみに必要な作業です。Firebird がインストールされていない環境であれば、このセクションを飛ばして次のセクションを参照してください。

スタートメニューから、「設定」→「コントロールパネル」を開きます。



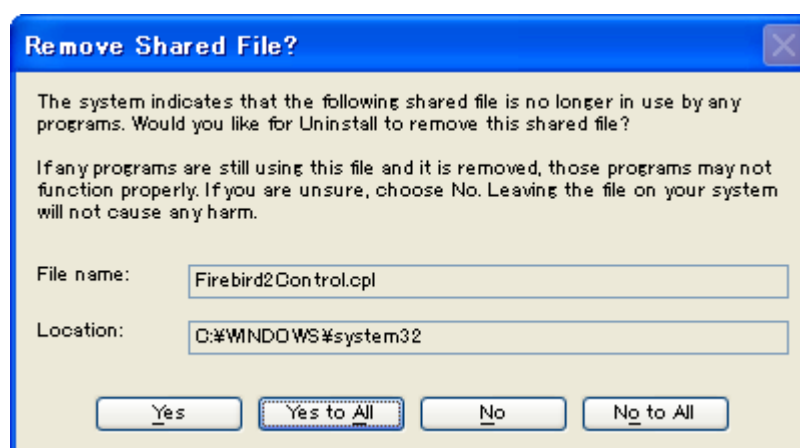
「プログラムの追加と削除」を開き、「Firebird 1.5」等のFirebirdデータベースの項目がありすでにインストールされているようであれば、Firebird 1.5等を選択し、「変更と削除」ボタンを押してください。



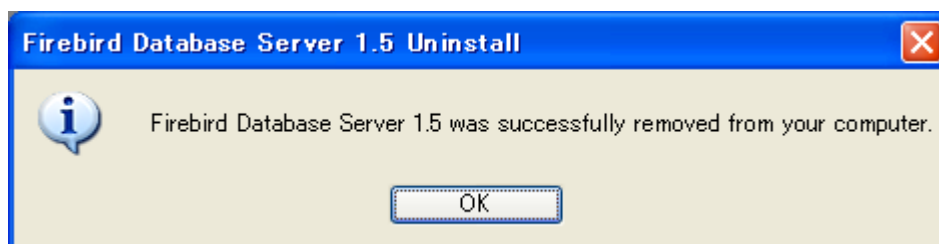
Firebird の削除を確認するダイアログが出ますので、「はい」を選択してください。



ライブラリ等の削除を求められますので、「Yes to All」を選択してください。



以下のような表示が出れば、Firebird のアンインストールに成功しています。これで、Firebird のアンインストールについては完了しました。



2. 初期設定

2. 1. 初期設定概要

2. 1. 1. はじめに

本書は、日医特定健康診査システムをお使いになる前に初期設定を行う作業手順です。
日医特定健康診査システムを正常に動作させるには、初期設定をお勧めします。

2. 1. 2. 事前準備作業の概要

以下の順番に初期設定を行います。

1. システムのインストール

最初にシステムのインストールを行います。インストール方法の詳細は別紙の「日医特定健康診査インストールマニュアル」を参照してください。

2. 健診機関情報の登録 **(必須です)**

「システム管理者用ソフトウェア」でこのシステムを使用する健診機関の情報を登録します。

3. 保険者情報の登録

保険者の基本データや基本的な健診の単価、詳細な健診の単価などのデータを登録します。

4. 健診項目マスタの登録

「特定健診ソフトウェア」にて健診項目の基準値や下限値、上限値、単価などを設定します。健診項目マスターは健診を行う受診者の所属している保険者毎に追加健診や詳細健診の単価を設定可能になっています。

必ず保険者の情報を登録するした後に健診マスタメンテナンス画面で基準値や下限値、上限値、単価を設定してください。

**基準値や下限値、上限値など初期設定されている値は参考値です。
必ず健診機関で使用している値に変更してください。**

5. パターンの登録

健診項目を組み合わせることを本システムでは健診パターン（一般的には、健診セット、健診コース、検査セット、検査コースなどと呼ばれています）と呼んでいます。

特定健診の基本健診、基本健診と詳細な健診、基本健診と追加の健診など健診項目の組み合わせをあらかじめ登録しておきます。

コピー元となるマスターデータ（基本的な健診、基本的な健診＋詳細な健診）があらかじめ2種類登録されていますので、システムを使う前にマスターデータからコピーして健診パターンを作成する必要があります。

**あらかじめ登録されている健診パターンは検査方法が違う健診項目も全て含まれています。
実施している検査方法のみを含めた健診パターンを作成してください。**

6. 支払代行機関の登録

保険者とは別に支払代行機関を利用している場合には、あらかじめ代行機関の情報を登録しておきます。

2.2. 初期設定準備作業

2.2.1. ソフトウェアの起動

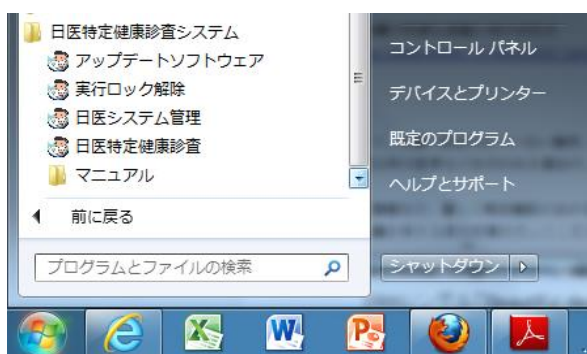
ソフトウェアを起動します。

※ 別冊「Linux 版インストールマニュアル」を参照しデスクトップアイコンを作成すると、Windows 版と同じ起動方法が利用できます。

Windows 版は以下のようにします。

【起動方法 1】

スタートメニューから「すべてのプログラム → 日医特定健康診査システム → 日医システム管理」の順に選択します。



【起動方法 2】

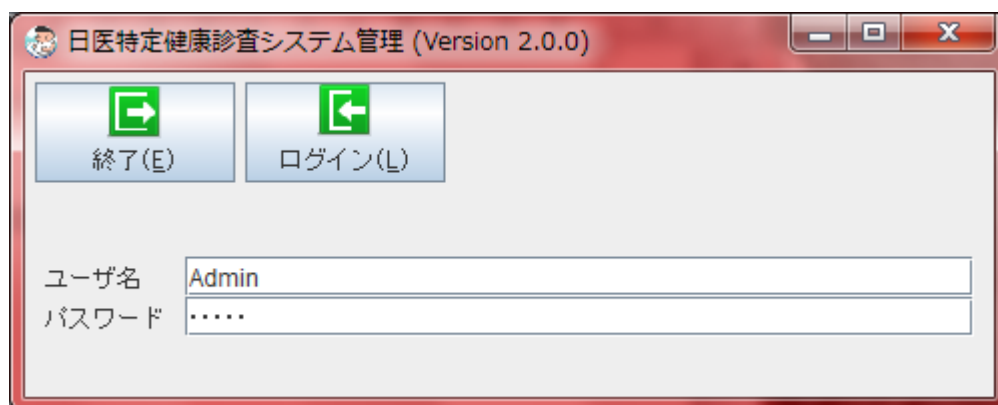
インストール時にデスクトップに作成するアイコンをクリックします。

特定健診ソフトウェアが起動すると、以下の右の図のようなスプラッシュ画面が表示されます。



2.2.2. ログイン

スプラッシュ画面が表示された後、以下のようなログイン画面が表示されます。



- ユーザ名
管理者用システムへのログインユーザ名を入力します。
- パスワード
 - ・ ログインするユーザに対応するパスワードを入力します。

なお、システムにあらかじめ登録されているユーザとパスワードは以下のとおりです。

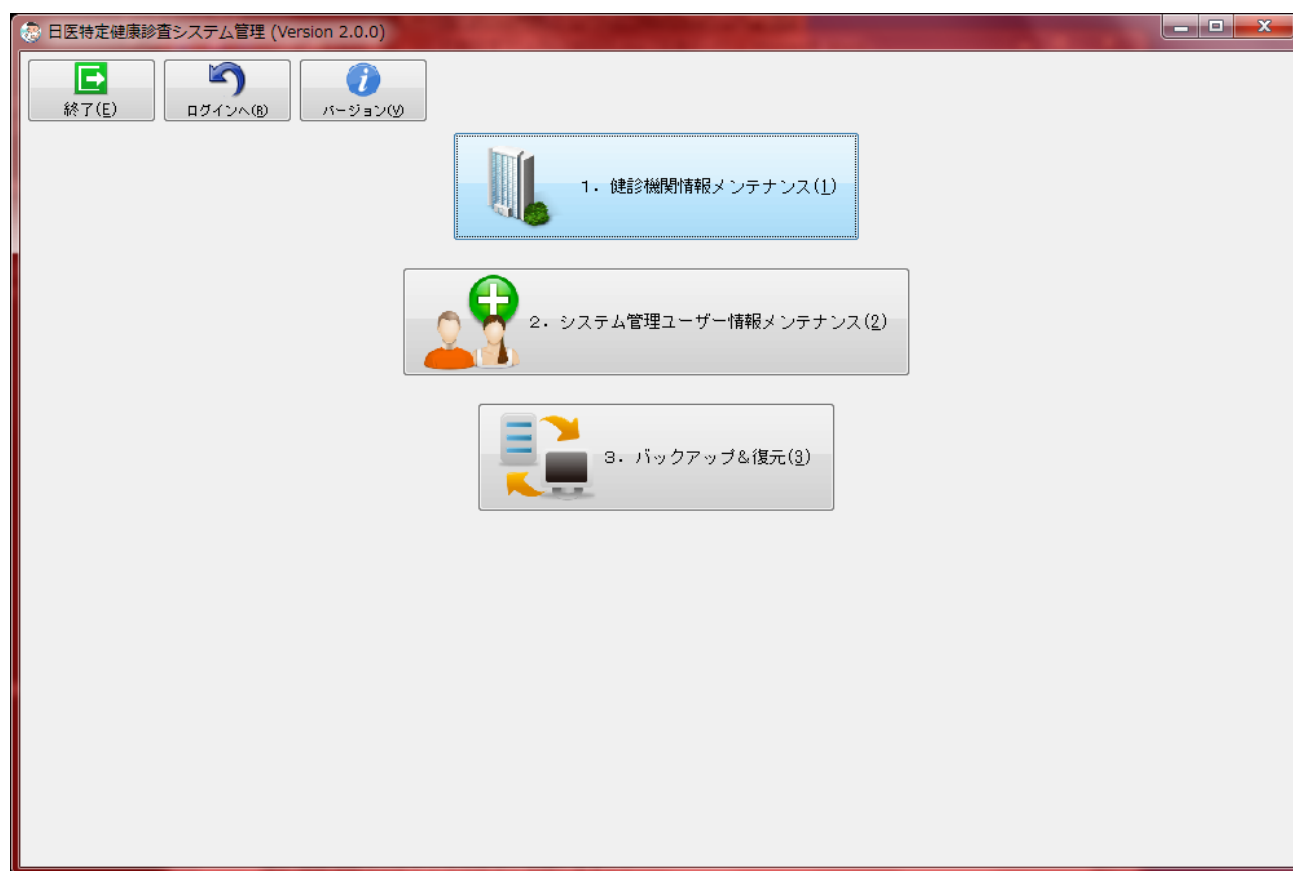
(半角アルファベット。Aのみ大文字。)

- ・ ユーザ名 : Admin
- ・ パスワード : Admin

ユーザ名の Admin のアルファベット A は大文字で入力してください。
パスワードも同様

2.2.3. 健診機関情報メンテナンスの起動

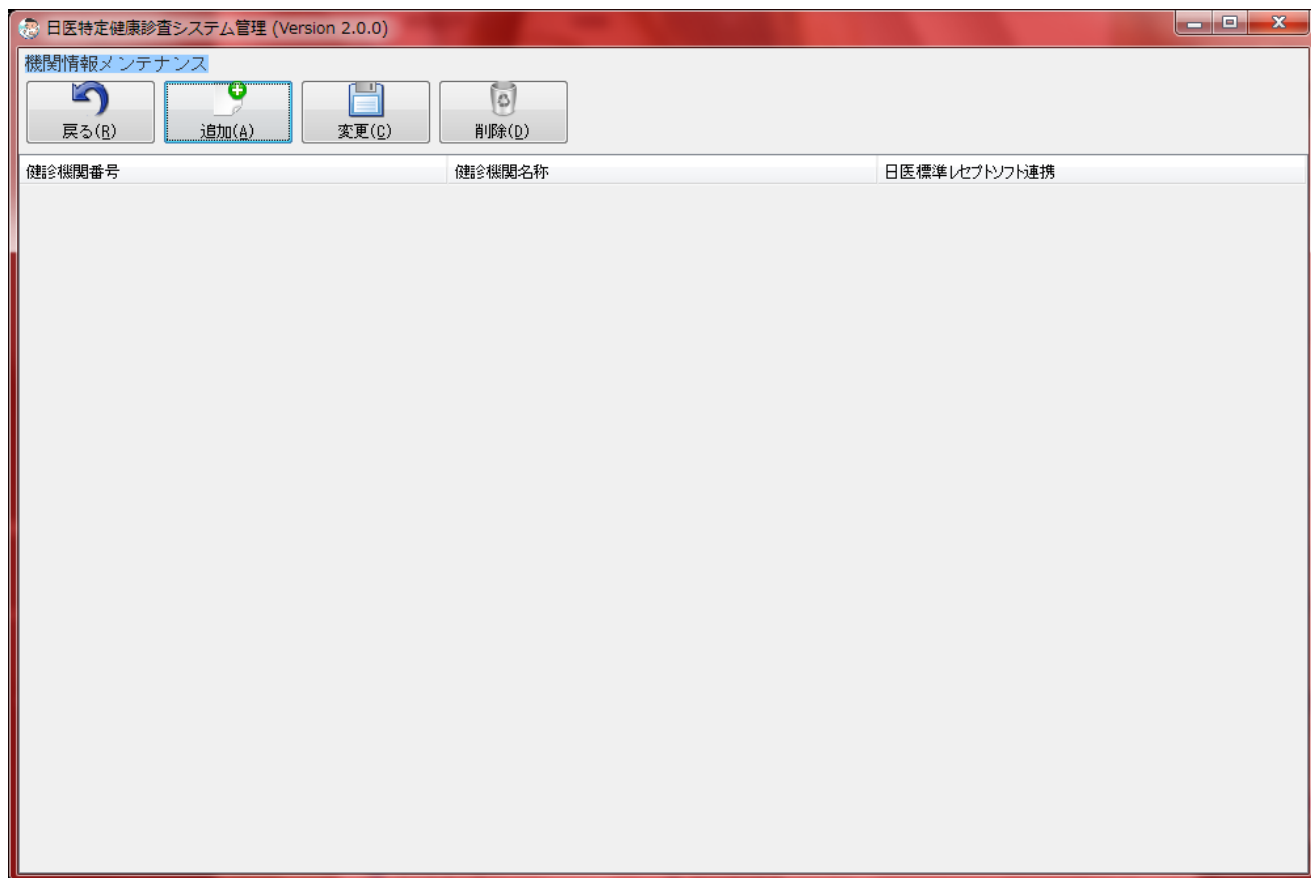
システム管理者用ソフトウェアを起動すると、システム管理者用メンテナンスメニュー画面が表示されます。



健診機関情報メンテナンスのボタンを押します。

2.2.4. 健診機関情報の追加

健診機関情報メンテナンスの初回起動時は、下記のようにデータの登録されていない、画面が表示されます。



上記画面では、追加のボタンを押してください。

2.2.5. 健診機関情報の登録

健診機関情報の登録画面が表示されます。

※画面上で名称がピンク色の欄は入力必須項目です。必ず設定してください。

健診機関番号には、特定健診を行う登録済みの健診機関番号を入力してください。
 送付元機関番号には、請求代行を行う機関が本ソフトを使用する場合に入力します。
 ※健診機関で本ソフトを使用する場合には、健診機関番号と送付元機関番号は同じ番号を入力してください。

上記画面の項目は以下のとおりです。

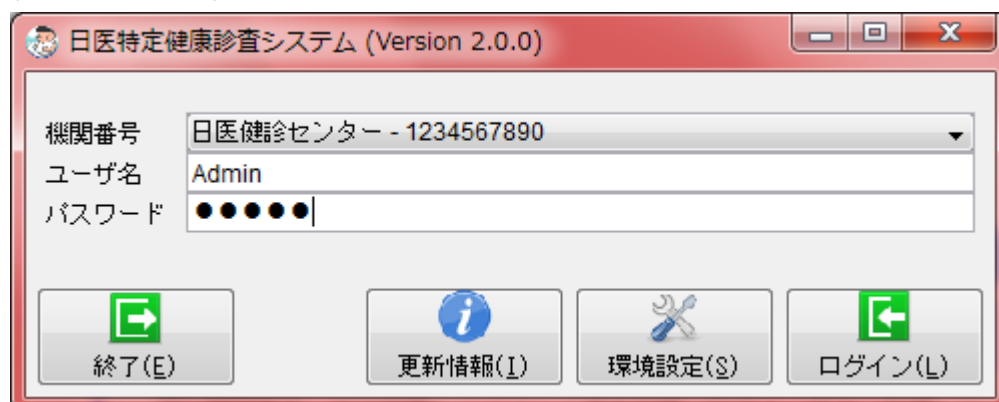
- 特定健診機関番号（入力必須項目）
本ソフトを使用する健診機関の番号です。
特定健診実施申請を行った健診機関番号を入力してください。
- 送付元機関版番号（請求事務代行含む）（入力必須項目）
※ 通常は特定健診機関番号と同じです。請求事務代行など健診を実施した機関と電子データを作成・送付する機関が違う場合には、電子データ送付元機関番号を入力してください。
- 名称（入力必須項目）
特定健診を行う健診機関の名称を入力してください。
- 郵便番号（入力必須項目）
健診機関の郵便番号を「-」（ハイフン）無しの7桁半角数字で入力してください。
- 所在地（入力必須項目）
健診機関の住所を全角で入力してください。
- 地番方書（入力は任意です）
健診機関の住所のうち上記所在地に追記する内容を入力してください。
- 電話番号（入力必須項目）
- 日医標準レセプトソフトと連携する「日レセ」と連携する場合は、「はい」を選んで以下の項目を設定指定ください。以下の項目は日レセと連携する場合のみ入力します。
- IP アドレス
日レセサーバのIPアドレス(又はホスト名)を入力します。
- ポート番号
日レセサーバのポート番号を入力します。
- 日レセのユーザID
日レセサーバのデータベースに接続するユーザIDを入力します。
- 日レセのパスワード
日レセサーバのデータベースに接続するユーザのパスワードを入力します。

※日レセの設定が完了したら確認のため「接続テスト」のボタンを押して確認してください。
入力が完了したら、「登録」ボタンを押した後、「戻る」ボタンを押します。

※日医標準レセプト側の設定については「日レセ連携マニュアル」を参考に願います
--

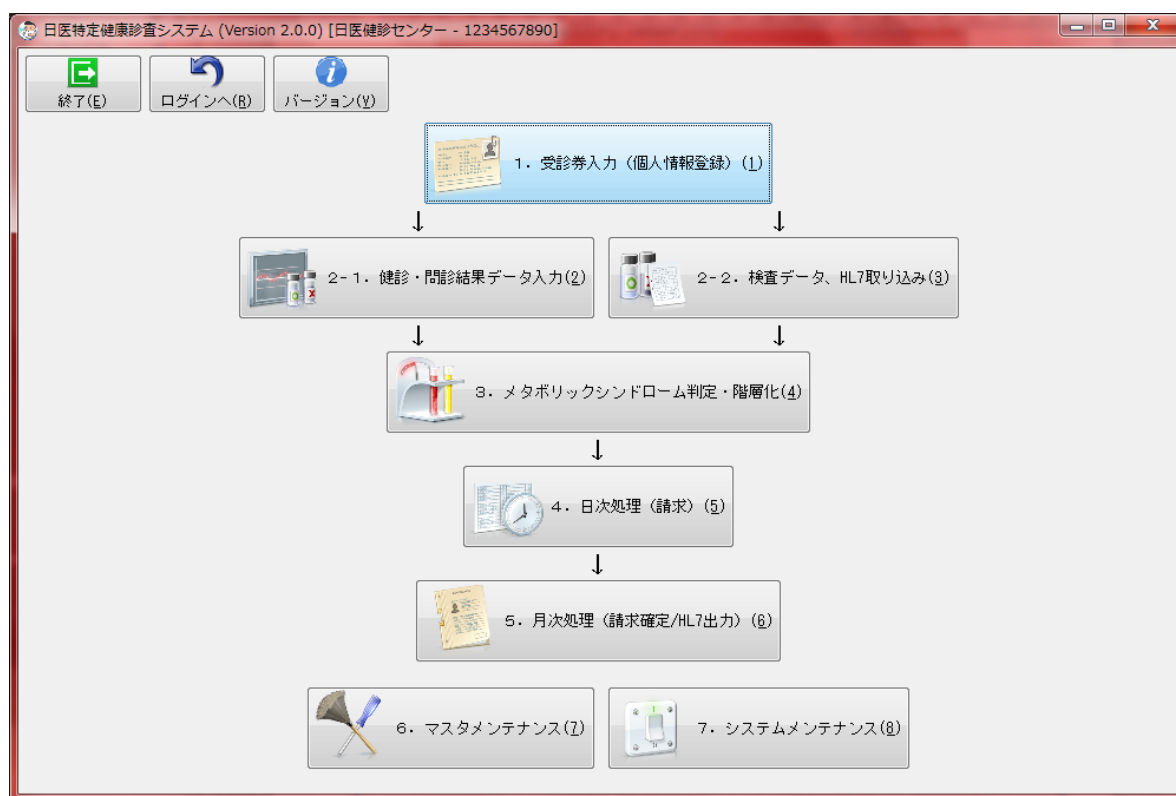
2.2.6. 健診項目マスターの更新

特定健診ソフトウェアにログイン



日医特定健康診査ソフトウェアを起動し、特定健診ソフトウェアにログインします。

特定健診ソフトウェアにログインすると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。



「6. マスタメンテナンス」を選択して、マスタメンテナンスメニューへ遷移します。

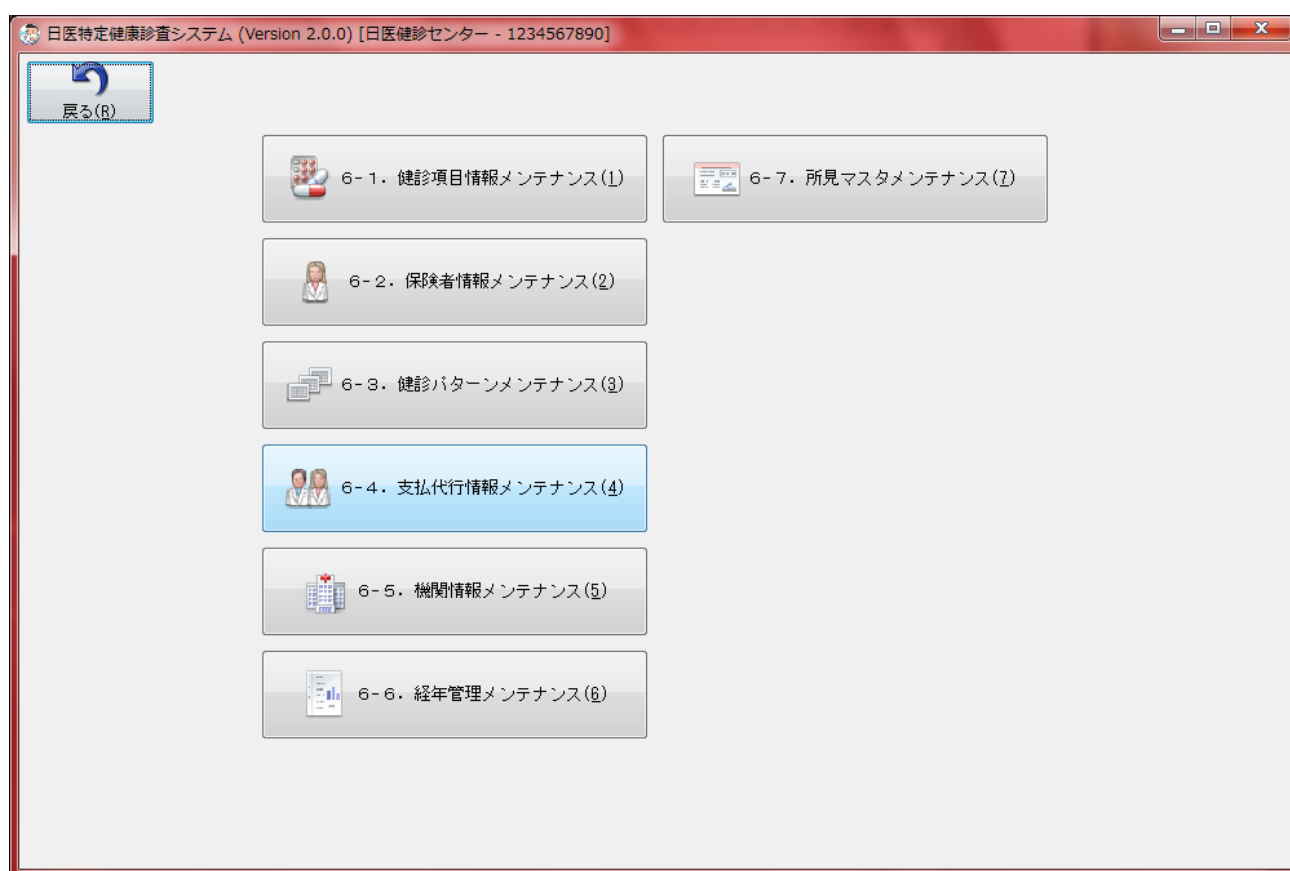
※必ず、初期設定で必要な内容についてご理解いただいてから以降の作業を行ってください。

2.2.7. マスターメンテナンスメニュー

メインメニューにてマスターメンテナンスの項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。

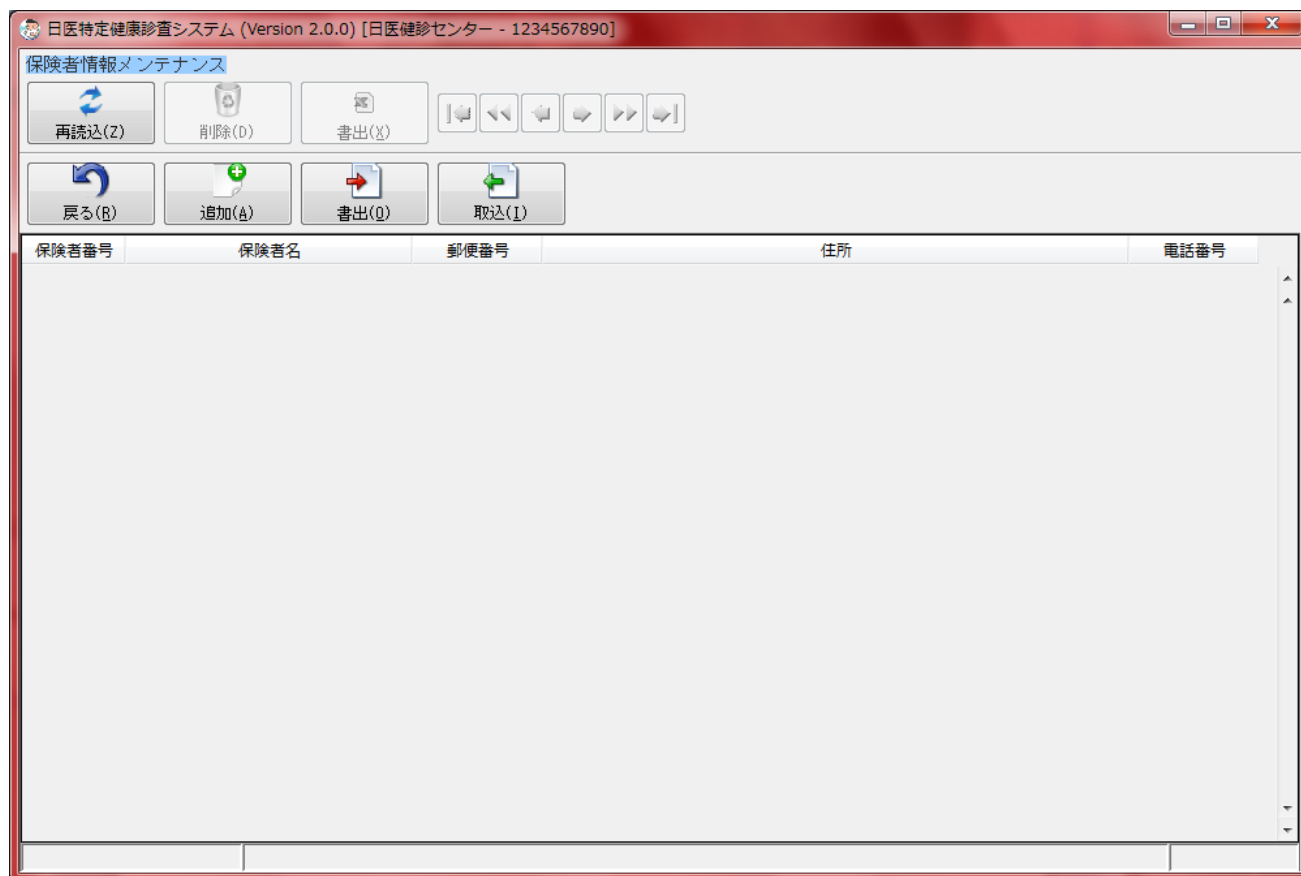
※注意事項

マスターメンテナンスメニューでは、データ入力業務の対象となる、健診パターン、医療保険者情報、各健診項目の基準値などの基本情報の登録および編集を行うことができます。本ソフトウェアを始めて利用する場合は、まず、はじめにマスターメンテナンスメニューから各種情報の登録を行ってください。事前に必要な情報がそろっていない場合は、各種判定や出力、請求データの作成で正しい処理ができません。



2. 2. 8. 保険者情報の登録と編集

メニュー画面で保険者情報マスタメンテナンスを選択すると、以下のような画面が表示されます。



上記画面の項目は以下のとおりです。

- 再読込(Z)
一覧画面を最新の状態に更新します。
- 削除(D)
一覧画面で選択した保険者の情報を削除します。
- 戻る(R)
メニュー画面へ戻ります。
- 追加(A)
保険者の情報を追加します。
- 書出(O)
登録済みの保険者の情報を CSV 形式で出力します。
- 取込(I)
登録済みの保険者の情報を CSV 形式で取込ます。

追加ボタンを押すと下記の画面が表示されます。

日医特定健康診査システム (Version 2.0.0) [日医健診センター - 1234567890]

保険者情報メンテナンス | 追加・編集

戻る(B) | 登録(S)

保険者情報

保険者番号: 11111111 (半角数字8桁)

保険者名称: 日医健康保険組合 (全角100文字以内、半角可)

郵便番号: 113-8621 (半角数字7桁) | 電話番号: 0311112223 (半角数字11桁以内)

所在地: 東京都文京区本駒込2-2-8-16 (全角100文字以内、半角可)

地番方書: 日医会館内 (全角100文字以内、半角可)

記号: (全角40文字以内、半角可)

単体履歴情報

有効期限: 20130305 ~ 20140305

1: 基本健診 | 委託料単体区分: 1: 個別 | (1: 個別健診 2: 集団健診)

単価 (基本的な健診): 8000 円 (半角数字9桁以内)

単価 (貧血検査): 円 (半角数字9桁以内)

単価 (心電図検査): 円 (半角数字9桁以内)

単価 (眼底検査): 円 (半角数字9桁以内)

2: 人間ドック | 単価 (人間ドック): 円 (半角数字9桁以内)

上記画面の項目は以下のとおりです。

- 保険者番号 (※入力必須項目はピンク色)
報告・請求を行う保険者の番号を入力してください。
- 保険者名称
報告・請求を行う保険者の名称を入力してください。
- 郵便番号
報告・請求を行う保険者の郵便番号を「-」(ハイフン) 無しの7桁半角数字で入力してください。
- 電話番号
報告・請求を行う保険者の電話番号を入力してください。
- 所在地
報告・請求を行う保険者の所在地を全角で入力してください。
- 地番方書
報告・請求を行う保険者の地番方書を入力してください。
- 記号
報告・請求を行う保険者の記号を全角で入力してください。

- 有効期限開始～終了
有効期限の開始年月日と終了年月日を入力してください。
- 健診区分
基本健診:1 か人間ドック:2 か選択してください。
- 委託料単価（個別:1・集団:2）区分
委託料単価の区分（個別:1・集団:2）の区分を選択してください。
- 単価（基本的な健診）
基本的な健診の単価を入力してください。
- 単価（貧血検査）
詳細な健診で行う、貧血検査の単価を入力してください。
- 単価（心電図検査）
詳細な健診で行う、心電図検査の単価を入力してください。
- 単価（眼底検査）
詳細な健診で行う、眼底検査の単価を入力してください。

※保険者情報読込ボタンを押すと、保険者マスタデータ（定期的に更新）より
保険者データを取得して一覧表示します。

※特定健診で請求・報告を行う必要のある保険者の情報を全て登録してください。

受診券入力画面で保険者番号を入力した際、保険者情報マスタに登録がされていない場合には、
直接保険者情報マスタの登録画面が表示されます。

保険者情報を削除した場合には、該当保険者の健診項目マスタのデータも同時に削除されます。

2.2.9. 健診項目マスターの登録と編集

メニュー画面で健診項目メンテナンスの項目を選択すると、以下のような画面が表示されます。

保険者	項目コード	項目名	検査方法	必須フラグ	基準値下限(男性)	基準
11111111:日医健康保険組合	9N0010000000000001	身長		1:基本		
11111111:日医健康保険組合	9N0060000000000001	体重		1:基本		
11111111:日医健康保険組合	9N0110000000000001	BMI		1:基本	18.500	24.90
11111111:日医健康保険組合	9N0210000000000001	内臓脂肪面積		1:基本		
11111111:日医健康保険組合	9N0161601000000001	腹囲(実測)	実測	1:基本		
11111111:日医健康保険組合	9N0161602000000001	腹囲(自己判定)	自己測定	1:基本		
11111111:日医健康保険組合	9N0161603000000001	腹囲(自己申告)	自己申告	1:基本		
11111111:日医健康保険組合	9N0260000000000002	肥満度		3:追加		
11111111:日医健康保険組合	9N0510000000000049	業務歴		3:追加		
11111111:日医健康保険組合	9N0560000000000011	既往歴		1:基本		
11111111:日医健康保険組合	9N0561604000000049	具体的な既往歴		1:基本		
11111111:日医健康保険組合	9N0610000000000011	自覚症状		1:基本		
11111111:日医健康保険組合	9N0611608000000049	自覚症状所見		1:基本		
11111111:日医健康保険組合	9N0660000000000011	他覚症状		1:基本		
11111111:日医健康保険組合	9N0661608000000049	他覚所見		1:基本		
11111111:日医健康保険組合	9N0710000000000049	その他(家族歴等)		3:追加		
11111111:日医健康保険組合	9N0760000000000049	視診(口腔内含む)		3:追加		
11111111:日医健康保険組合	9N0810000000000049	打聴診		3:追加		
11111111:日医健康保険組合	9N0860000000000049	触診(関節可動域含む)		3:追加		
11111111:日医健康保険組合	9N0910000000000001	反復唾液嚥下テスト		3:追加		
11111111:日医健康保険組合	9A7550000000000001	収縮期血圧(その他)	その他	1:基本		129.0

※初期設定の場合、保険者が1件のみ登録されている状態です。

複数件あって保険者番号を指定して検索する場合は、運用マニュアルを参照下さい。

上記画面の項目は以下のとおりです。

- 保険者(番号:名) (編集不可項目)
- 項目コード (編集不可項目)
- 項目名 (編集不可項目)
- 検査方法 (編集不可項目)
- 必須フラグ
1は特定健診の基本的な項目、2は医師の判断による詳細な健診項目、3はその他の追加で行う健診の項目を意味します。※通常は編集しないでください。
- 基準値(男性) 下限 (編集してください)
健診機関ごとに定めている(男性の)検査結果下限値を入力してください。
- 基準値(男性) 上限 (編集してください)
健診機関ごとに定めている(男性の)検査結果上限値を入力してください。
- 基準値(女性) 下限 (編集してください)
健診機関ごとに定めている(女性の)検査結果下限値を入力してください。
- 基準値(女性) 上限 (編集してください)
健診機関ごとに定めている(女性の)検査結果上限値を入力してください。
- 単位 (編集不可項目)
結果値の単位です。
- 入力下限値 (編集不可項目)
入力ミスのチェックを行うための下限チェック値です。
- 入力上限値 (編集不可項目)
入力ミスのチェックを行うための上限チェック値です。
- 基準値範囲 (編集不可項目)
- 単価 (編集してください)
※追加の健診などを行った際に計上される単価を入力してください。
- 備考
各検査に対しての備考を入力してください。

上記(編集してください)と記述してある項目を編集して登録しておきます。
マスターデータを基に検査単価など保険者ごとに違うデータを複製します。

入力が完了したら、「登録」ボタンを押した後、「戻る」ボタンを押します。

2.3.0. 追加健診の単価設定

追加健診の項目に単価を設定する場合は【健診項目マスタメンテナンス】画面から追加の項目ごとに単価を入力してください。（追加項目は必須フラグに「3:追加」が設定されている項目です。）

また、詳細な健診を追加健診項目として扱う場合もあります。

その際、追加健診項目として扱う場合の単価設定は追加項目と同じ様に【健診項目マスタメンテナンス】画面で入力します。（単価設定の際、【保険者情報メンテナンス】の詳細健診に単価が設定されている場合でも【健診項目マスタメンテナンス】の単価設定が優先されます。）

単価を入力する際、実施理由には何も入力せず(空欄とする)、他の項目のいずれか一つに単価を入力し、残りの項目の単価には必ず「0」を入力してください。

貧血検査		
項目コード	項目名	単価
2A040000001930102	ヘマトクリット値	1000
2A030000001930101	血色素量(ヘモグロビン値)	0
2A020000001930101	赤血球数	0
2A020161001930149	貧血検査実施理由	

心電図検査		
項目コード	項目名	単価
9A110160700000011	心電図(所見の有無)	1500
9A110160800000049	心電図所見	0
9A110161000000049	心電図実施理由	

眼底検査		
項目コード	項目名	単価
9E100166000000011	眼底検査(キースワグナー分類)	2000
9E100166100000011	眼底検査(シェイエ分類:H)	0
9E100166200000011	眼底検査(シェイエ分類:S)	0
9E100166300000011	眼底検査(SCOTT分類)	0
9E100160900000049	眼底検査(その他の所見)	0
9E100161000000049	眼底検査実施理由	

詳細な健診を追加健診項目として扱う場合は、基本一番上の項目に単価を入力し、実施理由以外の項目の単価には「0」を入力します。

※単価を設定した項目に値を入力しない(空欄とした)場合、その単価は算出されません。よって、単価は必ず値を入力する項目に設定してください。

2.3.1. 生活機能評価を同時実施した場合の単価設定

生活機能評価に関連する単価を入力する場合も追加健診と同じで【健診項目マスタメンテナンス】画面から行います。

(1) 問診項目

- ・「生活機能評価の結果 1」に関しては必ず「0」を入力してください(空欄としない)。
- ・「視診」・「打聴診」・「触診」に関しては通常の追加健診と同じ様に個々の単価を入力してください(単価が無い場合は空欄とせず「0」と入力する)。
- ・「生活機能問診 1～25」に関しては 1～25 を合わせて一つの項目の単価として計上するので「生活機能問診 1」に単価を入力し、それ以降の「生活機能問診 2～24」の単価には必ず「0」を入力してください(空欄としない)。ただし、契約情報で明示的に特定の項目に単価がある場合には、0 円ではなくその単価を項目へ設定して下さい。

項目コード	項目名	単価
9N076000000000049	視診(口腔内含む)	100
9N081000000000049	打聴診	200
9N086000000000049	触診(関節可動域含む)	300

追加健診と同じ様に個々に単価を入力する。

項目コード	項目名	単価
9N556000000000011	生活機能評価の結果1	0

単価は全て「0」を入力する。

項目コード	項目名	単価
9N811000000000011	生活機能問診1	400
9N816000000000011	生活機能問診2	0
9N821000000000011	生活機能問診3	0
9N826000000000011	生活機能問診4	0
9N831000000000011	生活機能問診5	0
9N836000000000011	生活機能問診6	0
9N841000000000011	生活機能問診7	0
9N846000000000011	生活機能問診8	0
9N851000000000011	生活機能問診9	0
9N856000000000011	生活機能問診10	0
9N861000000000011	生活機能問診11	0
9N866000000000011	生活機能問診12	0
9N871000000000011	生活機能問診13	0
9N876000000000011	生活機能問診14	0
9N881000000000011	生活機能問診15	0
9N886000000000011	生活機能問診16	0
9N891000000000011	生活機能問診17	0
9N896000000000011	生活機能問診18	0
9N901000000000011	生活機能問診19	0
9N906000000000011	生活機能問診20	0
9N911000000000011	生活機能問診21	0
9N916000000000011	生活機能問診22	0
9N921000000000011	生活機能問診23	0
9N926000000000011	生活機能問診24	0
9N931000000000011	生活機能問診25	0

「生活機能問診 1」にのみ単価を入力し、以降の問診の単価は全て「0」を入力する。

(2) 検査項目

- ・「生活機能評価の結果2～3」に関しては必ず「0」を入力してください(空欄としない)。
- ・通常は追加健診の単価設定と同じですが、2つの項目が合算された単価として存在している場合は、片方の項目に単価を入力し、もう片方の項目の単価には必ず「0」を入力してください(空欄としない)。
- ・生活機能評価の検査項目の場合、「貧血検査」、「心電図検査」の項目も含まれますので、追加項目の際と同じ様に実施理由には何も入力せず、他の項目のいずれか一つに単価を入力し、残りの項目の単価には必ず「0」を入力してください(空欄としない)。

項目コード	項目名	単価
9N561000000000011	生活機能評価の結果2	0
9N566000000000049	生活機能評価の結果3	0

単価は全て「0」を入力する。

項目コード	項目名	単価	項目コード	項目名	単価
3A015000002327101	アルブミン	1000	3C015000002327101	血清クレアチニン	0

合算単価の場合は片方に単価を入力する。

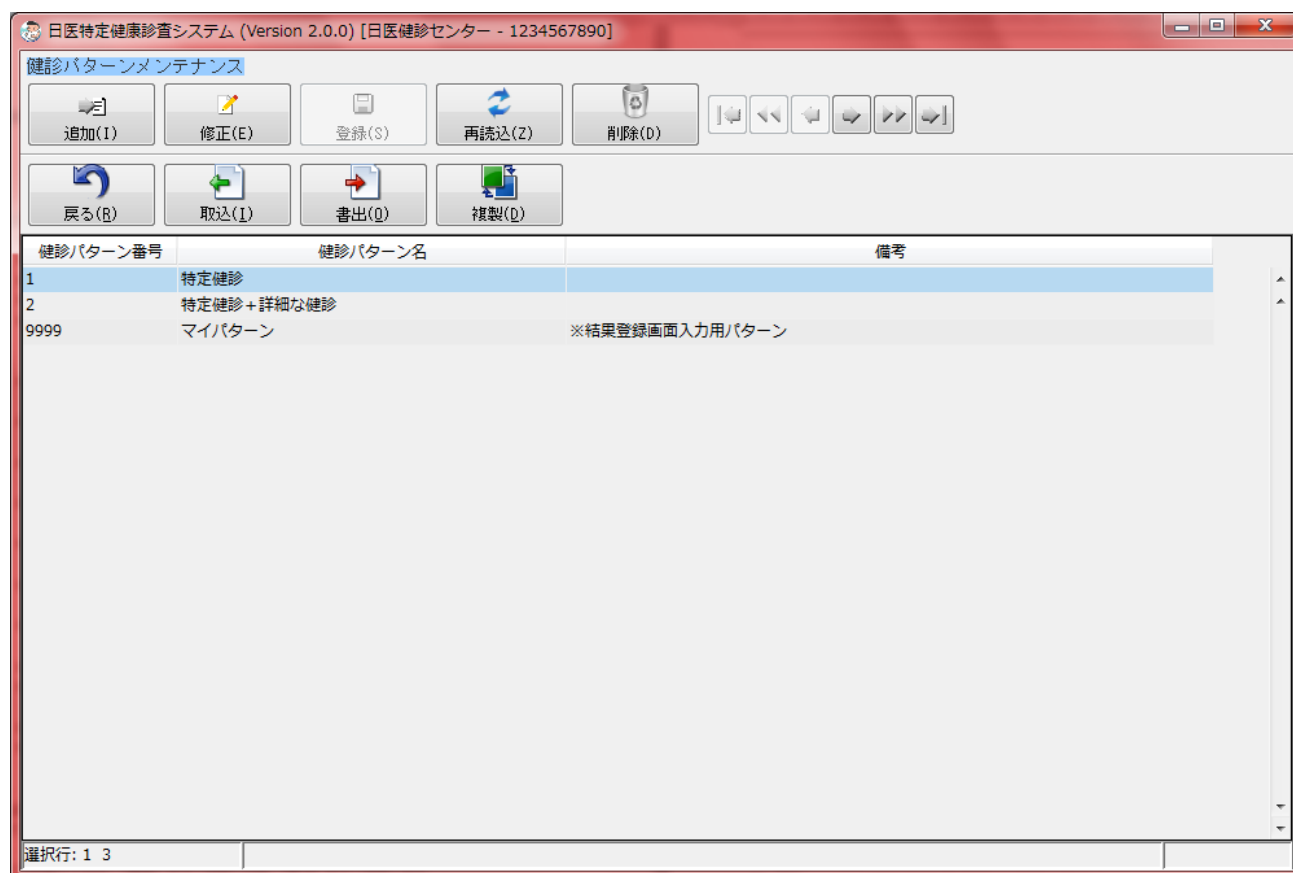
もう片方の単価には「0」を入力する。

項目コード	項目名	単価	項目コード	項目名	単価
2A040000001930102	ヘマトクリット値	1000	9A110160700000011	心電図(所見の有無)	1500
2A030000001930101	血色素量(ヘモグロビン値)	0	9A110160800000049	心電図所見	0
2A020000001930101	赤血球数	0	9A110161000000049	心電図実施理由	
2A020161001930149	貧血検査実施理由				

基本は一番上の項目に単価を入力し、実施理由以外の項目の単価には「0」を入力します。

2.3.2. 健診パターン登録と編集

メニュー画面で健診パターンメンテナンスの項目を選択すると、以下のような画面が表示されます。



上記画面の項目は以下のとおりです。

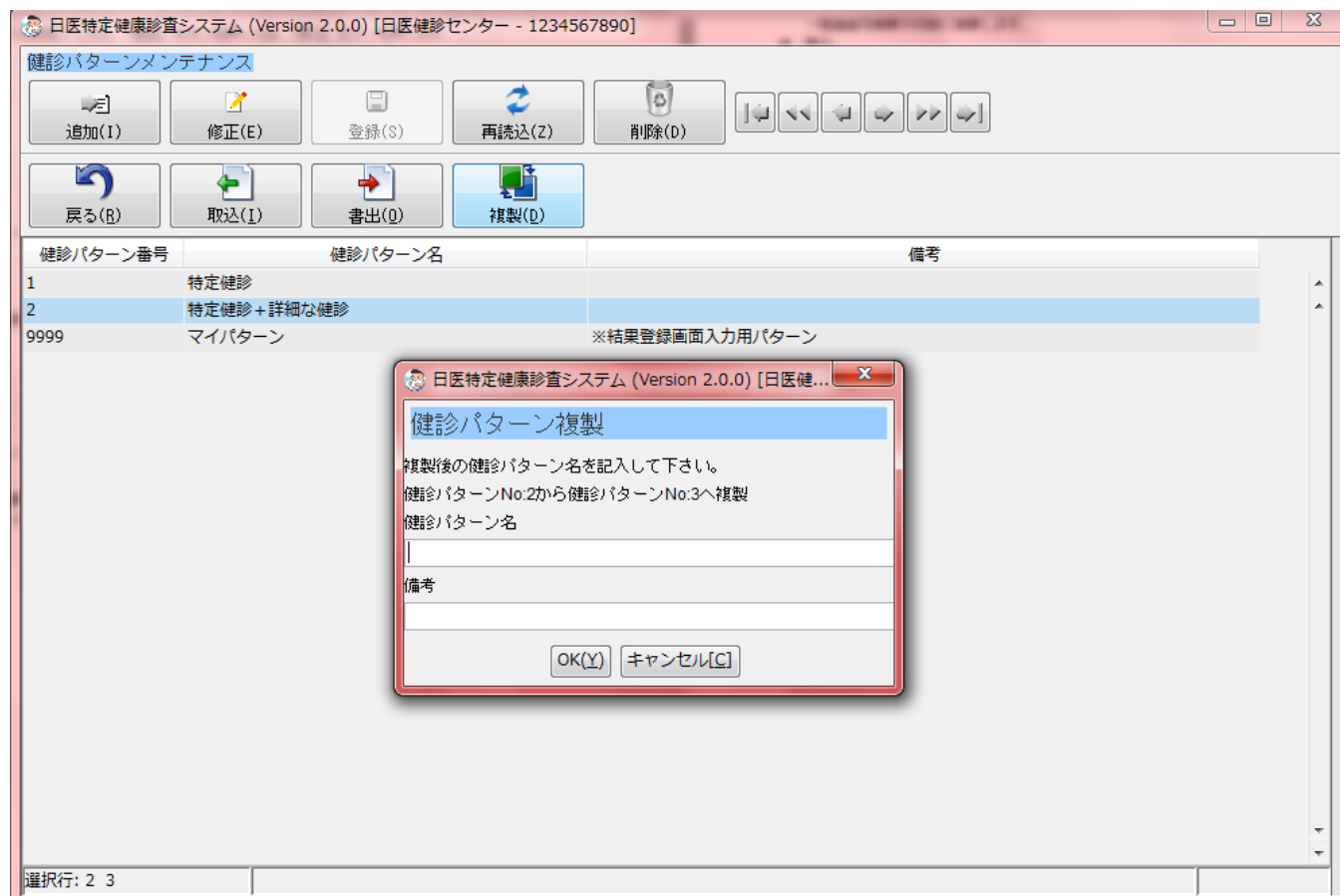
- 追加
新しく健診パターンを追加します。
- 修正
一覧のパターン名、備考を一括登録します。
- 登録
一覧へ入力したデータを一括保存します。
- 削除
健診パターンを行単位で削除します。(※他マスター一覧画面も共通ですので、以下省略)
※健診パターン1、2は削除できません。
- 再読込
一覧画面を最新の状態に更新します。(※他マスター一覧画面も共通ですので、以下省略)
- 戻る
メニューへ戻ります。(※他マスタ画面も共通ですので、以下省略)
- 取込(I)
登録済みの保険者の情報を CSV 形式で取込めます。(※他マスター一覧画面も共通ですので、以下省略)

- 書出 (O)
登録済みの保険者の情報を CSV 形式で出力します。(※他マスター一覧画面も共通ですので、以下省略)
- 複製
登録済みの健診パターンを基に新しく 健診パターンを作成する場合に使用します。

2.3.3. 健診パターンの複製 1

通常は、登録済みの健診パターンを基に複製して健診パターンを作成します。

複製したいパターンの行を選択してパターン複製ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。

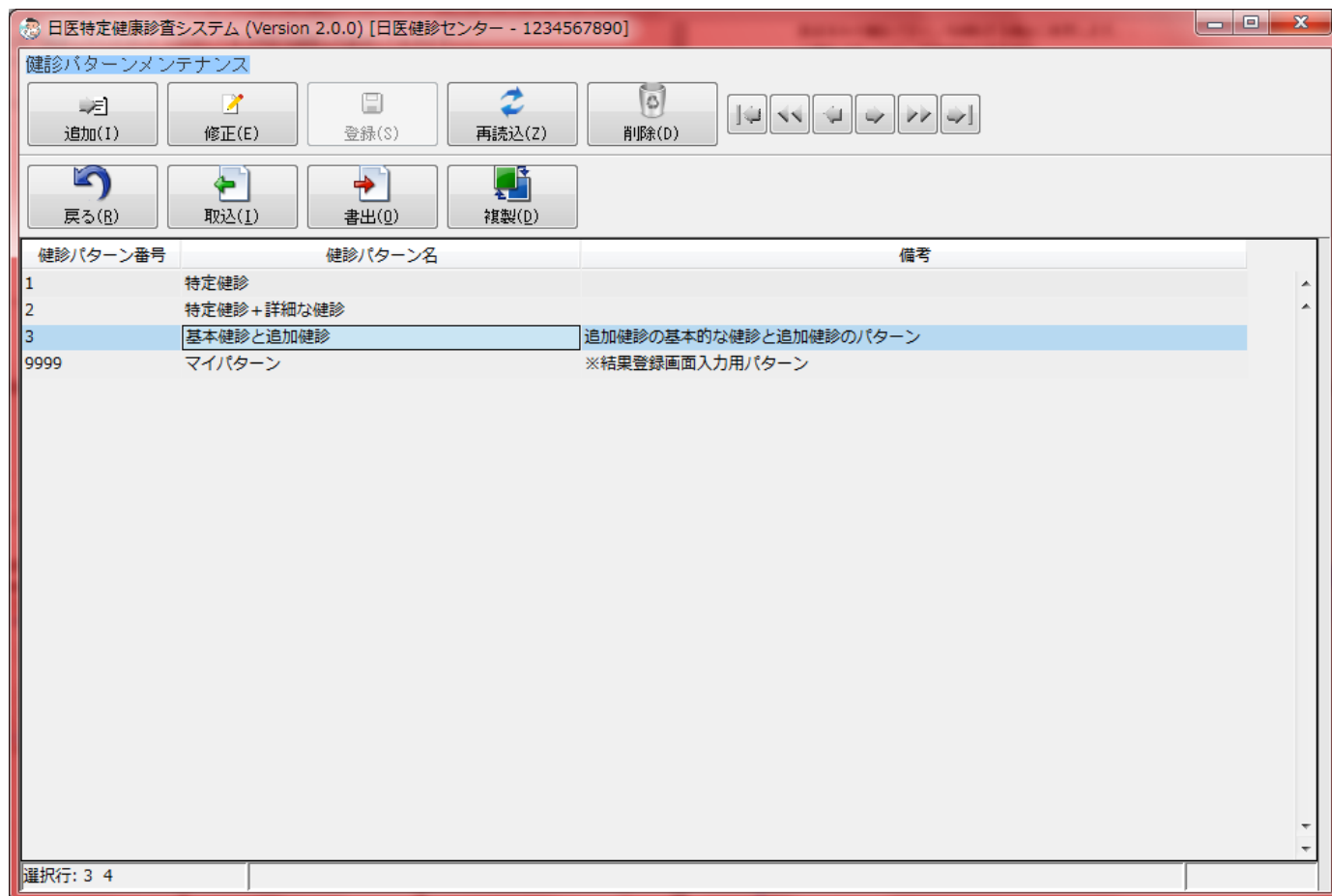


- パターン名
複製元となるパターンの名称です。
- 備考
複製先パターンの備考を入力します。
- OK
パターンが複製されます。
- キャンセル
複製画面キャンセルされます。

複製先につける健診パターン名を入力してOKボタンを押します。

2.3.4. 健診パターンの複製 2

複製先につける名前を入力して決定ボタンを押すと以下の様な画面が表示されます。



複製したパターンを選択して、パターン編集ボタンを押します。

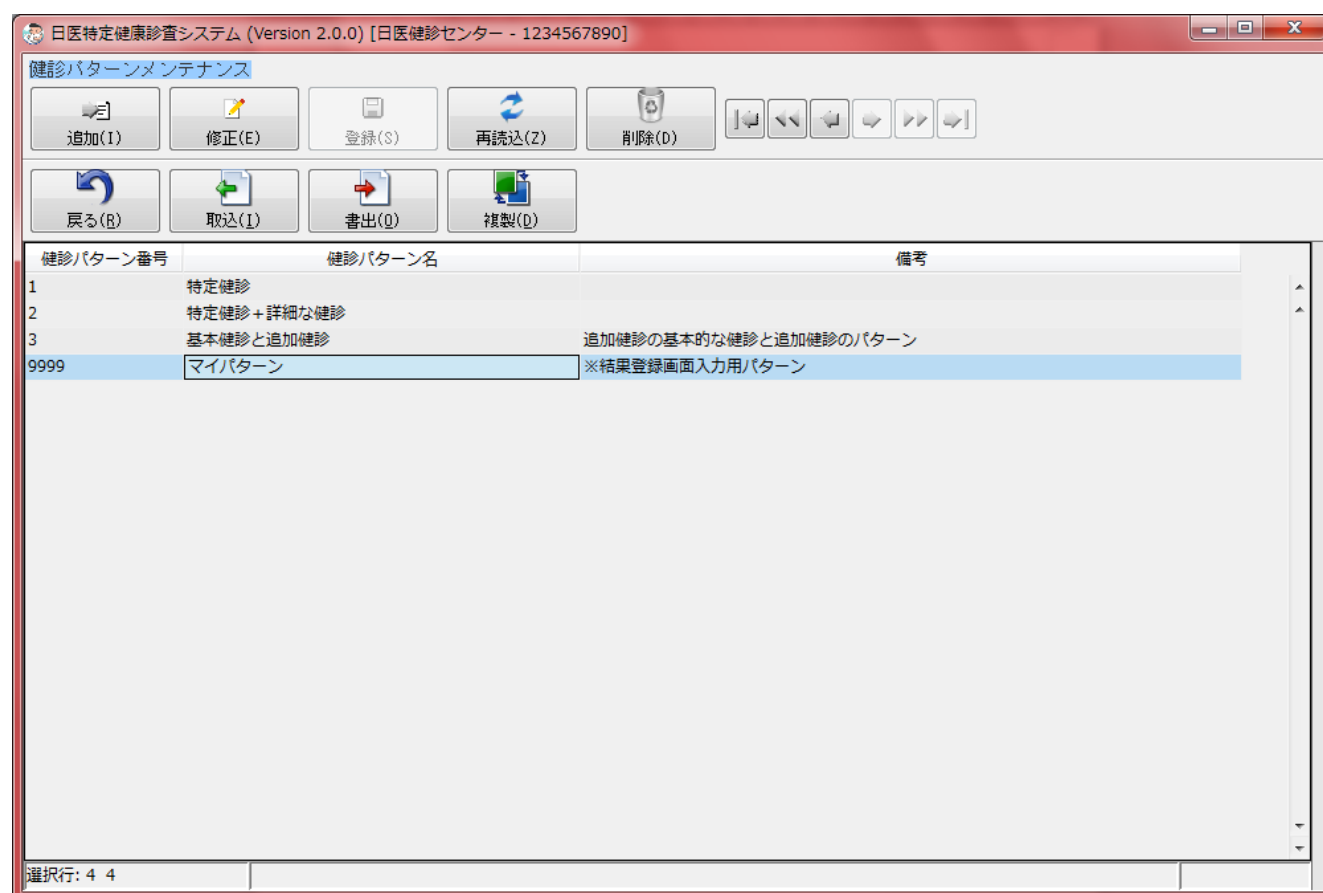
2.3.5. 健診パターン(マイパターン)の編集

Ver2.0 より健診結果入力用のパターン作成(マイパターン)機能が追加されました。

あらかじめ、入力項目が決まっている場合は、設定されることをおすすめします。

他の健診パターン同様に「マイパターン」を編集してください。

※デフォルトは基本健診パターンの「特定健診」が設定されています。



「9999:マイパターン」を選択してダブルクリックします。

「健診パターンの編集」と同様の手順で編集してください。

2.3.6. 健診パターン編集

複製したパターンを選択して、パターン編集ボタンを押すと以下の様な画面が表示されます。

日医特定健康診査システム (Version 2.0.0) [日医健診センター - 1234567890]

健診パターンメンテナンス | 追加・編集

戻る(R) 操作取消(C) 複合(M) 登録(S)

パターン名 基本健診と追加健診

<<選択パターンの内容>>

項目コード	項目名	検査方法	種別	SEQ
9N001000000000...	身長		基本	10
9N006000000000...	体重		基本	20
9N011000000000...	BMI		基本	30
9N021000000000...	内臓脂肪面積		基本	40
9N01616010000...	腹囲(実測)	実測	基本	50
9N01616020000...	腹囲(自己判定)	自己測定	基本	60
9N01616030000...	腹囲(自己申告)	自己申告	基本	70
9N056000000000...	既往歴		基本	100
9N05616040000...	具体的な既往歴		基本	110
9N061000000000...	自覚症状		基本	120
9N06116080000...	自覚症状所見		基本	130
9N066000000000...	他覚症状		基本	140
9N06616080000...	他覚所見		基本	150
9A755000000000...	収縮期血圧(その他)	その他	基本	210
9A752000000000...	収縮期血圧(2回目)	2回目	基本	220
9A751000000000...	収縮期血圧(1回目)	1回目	基本	230
9A765000000000...	拡張期血圧(その他)	その他	基本	240
9A762000000000...	拡張期血圧(2回目)	2回目	基本	250
9A761000000000...	拡張期血圧(1回目)	1回目	基本	260
9N141000000000...	採血時間(食後)		追加	280
3F01500000232...	中性脂肪(トリグ...	可視吸光度法 (...	基本	320
3F01500000232...	中性脂肪(トリグ...	可視吸光度法 (...	基本	320

整列 (Alt+O)

↑ (Alt+W)

← (Alt+A)

→ (Alt+D)

↓ (Alt+E)

<<健診項目マスタの内容>>

項目コード	項目名	検査方法	種別	SEQ
3D04600000190...	HbA1c(NGSP値)	免疫学的方法(ラテ...	基本	732
3D04600000192...	HbA1c(NGSP値)	HPLC(不安定分画除...	基本	734
3D04600000192...	HbA1c(NGSP値)	酵素法	基本	736
3D04600000199...	HbA1c(NGSP値)	その他	基本	738
1A03000000019...	尿比重	屈折計法	追加	820
1A03000000019...	尿比重	その他	追加	830
1A10000000019...	尿潜血	試験紙法(目視法)	追加	790
1A10000000019...	尿潜血	試験紙法(機械読み...	追加	780
1A10516070016...	尿沈渣(所見の有無)		追加	800
1A10516080016...	尿沈渣(所見)		追加	810
1B03000000015...	便潜血	方法問わず	追加	1480
2A010000000193...	白血球数	自動血球算定装置	追加	910
2A050000000193...	血小板数	自動血球算定装置	追加	920
2A060000000193...	MCV	自動血球算定装置	追加	880
2A070000000193...	MCH	自動血球算定装置	追加	890
2A080000000193...	MCHC	自動血球算定装置	追加	900
3A015000000232...	アルブミン	可視吸光度法(B...	追加	570
3A015000000239...	アルブミン	その他	追加	580
3A016000000232...	A/G		追加	590
3B070000000232...	ALP	可視吸光度法(J...	追加	490
3B070000000239...	ALP	その他	追加	500
3B070000000239...	ALP	その他	追加	500

凡例 基本健診項目 詳細健診項目 追加健診項目

- パターン名
編集中のパターンの名称が表示されます。
- 選択パターンの内容 (左表)
編集中のパターンに適用される健診項目の一覧を表示します。
- 健診項目マスタの内容 (右表)
編集中のパターンに適用されていない健診項目の一覧を表示します。
- 整列ボタン
SEQ 番号 (項目に割り当てられた順番) 順に表示します。
- ↑ ボタン
左表の項目を上に移動します。(複数項目可)
- ↓ ボタン
左表の項目を下に移動します。(複数項目可)
- ← ボタン
編集中のパターンに健診項目を追加する場合に使用します。
健診項目マスタの一覧から追加したい健診項目を選択して押すことにより健診パターンの最下行に追加されます。(複数項目可)

- →ボタン
編集中のパターンから健診項目を除外する場合に使用します。
選択パターンの一覧から除外したい健診項目を選択して押すことにより健診パターンから除外されます。(複数項目可)
- 登録
編集中の健診パターンを登録する場合に使用します。
- 操作取り消し
編集中の健診パターンに対して行った処理を取り消しする場合に使用します。

2.3.7. 支払代行機関の登録と編集

メニュー画面で支払代行マスタメンテナンスの項目を選択すると、以下のような画面が表示されます。

日医特定健康診査システム (Version 2.0.0) [日医健診センター - 1234567890]

支払代行情報メンテナンス

修正(E) 登録(S) 検索(F) 再読込(Z) 削除(D) 書出(X)

戻る(B) 追加(A) 取込(I) 書出(O)

支払代行機関番号	支払代行機関名称	郵便番号	住所	電話番号
90199027	北海道国民健康保険団体連合会	0600062	札幌市中央区南二条西14丁目国保会館	0112315161
90299025	青森県国民健康保険団体連合会	0300801	青森市新町2-4-1	0177231336
90399023	岩手県国民健康保険団体連合会	0200025	盛岡市大沢川原3-7-30	0196234322
90499021	宮城県国民健康保険団体連合会	9800011	仙台市青葉区上杉1-2-3宮城県自治会館内	0222227070
90599028	秋田県国民健康保険団体連合会	0100951	秋田市山王4-2-3県市町村会館内4F	0188626864
90699026	山形県国民健康保険団体連合会	9900041	寒河江市大字寒河江字久保6	0237878002
90799024	福島県国民健康保険団体連合会	9608043	福島市中町3-7	0245232702
90899022	茨城県国民健康保険団体連合会	3100852	水戸市笠原町978-26茨城県市町村会館内	0293011550
90999020	栃木県国民健康保険団体連合会	3200033	宇都宮市本町12-11栃木会館4F	0286227242
91099028	群馬県国民健康保険団体連合会	3710846	前橋市元総社町335番 宇都宮市本町12-11栃木会館4F	0272901363
91199026	埼玉県国民健康保険団体連合会	3380002	さいたま市中央区大字下落合1704番国保会館	0488242761
91299024	千葉県国民健康保険団体連合会	2630016	千葉市稲毛区天台6-4-3	0432547355
91399022	東京都国民健康保険団体連合会	1020072	千代田区飯田橋3-5-1東京区政会館11F	0362380011
91399039	特定非営利活動法人健康情報処理...	4600011	名古屋市中央区大須3-30-40 万松寺ビル10F	0522411351
91499020	神奈川県国民健康保険団体連合会	2200003	横浜西区楠町27-1国保会館	0453293400
91599027	新潟県国民健康保険団体連合会	9508560	新潟市中央区新光町7-1県自治会館別館内	0252853033
91699025	富山県国民健康保険団体連合会	9308538	富山市下野字豆田995番地の3富山県市町村会館内	0764319829
91799023	石川県国民健康保険団体連合会	9200968	金沢市幸町12-1石川県幸町庁舎	0762615191
91899021	福井県国民健康保険団体連合会	9100843	福井市西開路4-202-1福井県自治会館4F	0776571612
91999029	山梨県国民健康保険団体連合会	4008587	甲府市蓬沢1-15-35山梨県自治会館4F	0552232111
92099027	長野県国民健康保険団体連合会	3800871	長野市大字西長野字加茂北143-8長野県自治会館	0262381550
92199025	岐阜県国民健康保険団体連合会	5008385	岐阜市下奈良2-2-1	0582731111

選択行: 12 頁 1

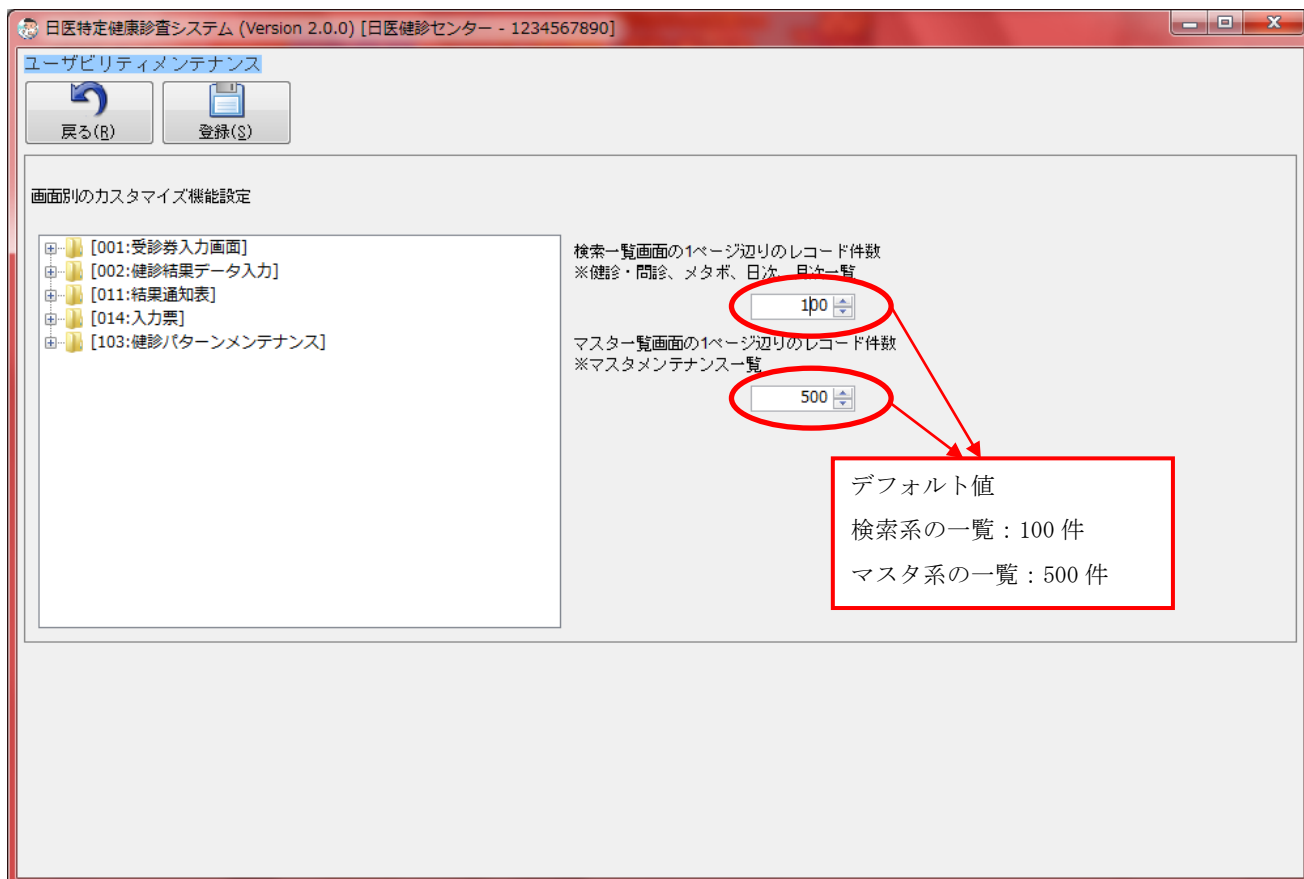
- 支払代行機関名称
支払代行機関の名称を入力します。
- 郵便番号
支払代行機関の郵便番号を入力します。
- 住所
支払代行機関の所在地を入力します。
- 電話番号
支払代行機関の電話番号を入力します。
- 修正ボタン
一覧画面を修正モードに切り替え、一括で修正を行います。
- 登録ボタン
修正モードで編集したデータを一括で登録を行います。
- 検索ボタン
検索ウィンドウを表示します。
- 追加
支払代行機関の情報を追加する場合に使用します。

3. その他

3.1. 一覧表示件数設定

メニューの「7. システムメンテナンス」から「7-1. ユーザビリティメンテナンス」を選択します。

※詳しい説明は運用マニュアルを参照下さい。



件数を変更(スピンボタンを上下に移動、又は 10 件単位で入力)して「登録」ボタンを押してください。